



令和 5 年 度

山形県立図書館要覧

～ 游学館 ～

山形県立図書館

目 次

1	山形県立図書館のあゆみ	1
2	山形県立図書館令和5年度運営方針	5
3	山形県立図書館の組織	11
4	図書館協議会	12
5	山形県立図書館の予算・決算	13
6	施設の現状（改修後）	14
7	所蔵資料	15
	（1）蔵書、視聴覚資料等	15
	（2）データベース（オンライン資料）	16
8	レファレンス協同データベース（国会図書館）	17
9	パスファインダー	18
10	セット資料貸出	20
11	絵本の本棚	21
12	ティーンズコーナー・GATE★BOOK（ゲートブック）	21
13	利用の状況	22
	（1）図書館利用概況	22
	（2）図書資料利用状況の推移	23
	（3）図書資料貸出利用の年齢構成	24
	（4）図書資料予約受付数	24
	（5）県立図書館から市町村立図書館（室）への貸出数推移	25
	（6）調査相談件数の内訳	26
14	令和4年度の主な取組み	27
15	利用の案内	37
16	市町村立図書館の設置状況	38
17	縣人文庫展示者のプロフィール	39
18	ふるさと納税	41
19	山形県立図書館 雑誌スポンサー	42
20	山形県立図書館利用規程	43

1 山形県立図書館のあゆみ

【 月.日 】

年	山形県立図書館	県内図書館等
明治18		谷地読書協会創立【2.--】
33		谷地青年会発足、青年文庫設置【5.10】
34		酒田書籍購読会発足【10.--】
36		私立山形図書館、開館(私立山形幼稚園の階上)【4.3】
37		酒田書籍購読会を酒田文庫と改称【4.--】
38		私立置賜図書館(長井町)創設【4.--】 平民文庫縦覧所(山形市)設置【7.--】
39		明倫文庫(新庄町)創立 町立荒砥図書館(荒砥小学校内)創立【6.17】 私立照心書院(長井町)創立【8.--】
41	東宮行啓記念事業として県立図書館の創立を県会が決議【12.--】	小松至誠会付属図書館、創立【12.--】
42	私立山形図書館閉館、蔵書等を県立図書館に寄贈【3.31】 「行啓記念山形県立図書館」設立認可(文部省告示)【5.13】	赤湯町立図書館、創立【8.--】 南村山郡立図書館(上山町)創立【9.--】 財団法人米沢図書館、開館【10.17】 酒田文庫を私立酒田図書館と改称【12.--】
43	行啓記念山形県立図書館落成(総建坪119坪) 行啓記念山形県立図書館開館、一般閲覧開始【5.25】	
44	山形市北部大火、本館類焼、蔵書10,344冊を焼失【5.8】 仮事務所を専称寺に置く【6.1】	私立鶴岡図書館、設立【11.--】
大正元	山形物産陳列場に仮事務所を移転【11.11】	村立余目図書館(余目尋常高等小学校に併設)開館【11.1】
2	行啓記念山形県立図書館の新館舎落成(建坪143.5坪)【12.31】	
3	新館舎での一般閲覧開始【3.5】	
4		私立左沢文庫、創立【3.--】 鶴岡町立図書館(大宝館に併設)創立【11.10】 谷地図書館設立、開館【11.24】
5		西村山郡立図書館(寒河江市)創立【4.--】 第11回全国図書館大会を山形ほかで開催【10.9】
9	受験用巡回文庫創設(県下中学校を巡回)【1.--】	
12		財団法人光丘文庫、設立【6.1】
14		山形県図書館協会、設立【7.10】 私立酒田図書館、蔵書を光丘文庫に寄贈して解散【3.28】
昭和3		新庄町立図書館、創設【4.1】 東北北海道図書館連盟、成立【4.29】
9	行啓記念山形県立図書館を山形県中央図書館に指定(改正図書館令)【4.19】	
10		赤湯町立図書館臨雲文庫、開庫【4.29】 山形県図書館協会、農村更生文庫設立【12.--】

年	山形県立図書館	県内図書館等
昭和11		「山形県図書館協会報」創刊【4.20】、第12号より「山形文化時報」に改名
13		財団法人米沢図書館の寄附を受け、市立米沢図書館設立【4.1】
14		小松至誠会付属図書館、小松町立図書館となる【4.27】
20	図書館蔵書を東沢村蓬来寺に疎開 7,410冊【7.20】、3,937冊【8.3】 疎開蔵書帰還【10.21】 進駐軍への図書館舎明渡し通告【11.22】、図書館事務室は日赤山形県支部に移転し、蔵書は山形二中に移転	
21	山形県婦人会館の2階で一部一般閲覧開始【6.17】	
22		山形県読書連盟発足【12.14】
23	仮館舎、山形中学校剣道場での一般閲覧開始【2.16】	
24		寒河江町立図書館、設立【11.--】
25	日本十進分類法(新訂6版)、日本目録規則、日本件名標目法を採用【6.6】 「行啓記念山形県立図書館」を「山形県立図書館」に改称、山形県中央図書館の指定解除【7.30】 山形県立図書館条例制定【8.31】	酒田市立図書館(光丘文庫に併設)創立【4.1】 図書館法公布【4.30】、施行【7.30】
26	初の移動図書館を実施【10.12】	
27	田川地区(鶴岡)、最上地区(新庄)に配本所設置【4.--】	
28	仮館舎から本館に戻り閲覧開始【3.1】 館報「図書館だより」発刊【5.10】 東南置賜(宮内)、西置賜(長井)、西村山(左沢)、北村山(楯岡)に配本所設置【6.--】 飽海地区(酒田)に配本所設置【9.--】	私立龍門図書館、設立【11.--】 山形県公共図書館協議会、結成【11.3】
30	南置賜地区(米沢)に配本所設置【3.--】 東南村山地区(天童・上山)に配本所設置【6.--】 田川地区配本所を鶴岡分館に【7.1】、南置賜配本所を米沢分館とする【11.--】	
31	最上地区配本所を新庄分館とする【6.--】	
32	飽海地区配本所を遊佐町に移転し、市立酒田図書館内に酒田分館を設置【5.--】	山形点字図書館を山形盲学校内に創設【12.--】
33		財団法人光丘文庫、酒田市に寄贈【4.1】 酒田市立光丘図書館に改称
34	赤湯分館を設置【9.--】 北村山配本所を尾花沢市に移転【11.--】	
36	自動車文庫(やまなみ号)巡回開始【10.2】	
37	図書館新築(県民会館と併設～図書館面積 2,212㎡)、開館【8.16】	
40		山形県公共図書館協議会を山形県図書館協会に改称【6.10】
42		町村合併により南陽市立図書館開館、赤湯町立図書館臨雲文庫を南陽市立結城記念館に改称【4.1】
46		川西町立図書館、開館【7.--】
47	分館の廃止【6.--】	
50		西川町立図書館、開館【10.1】
51	協力車運行開始(自動車文庫「やまなみ」廃止)【4.--】	山形新聞社内に山形中央図書館開館【9.25】

年	山形県立図書館	県内図書館等
昭和52	「山形県関係文献目録」刊行 【3.25】	
53		山形県立点字図書館、開館 【4.1】
54		村山市立図書館(旧、私立喜早彦太図書館)開館 山形市立図書館新築、開館 【7.1】 尾花沢市民図書館開館 【7.--】
56		長井市立図書館移転新築し、開館【5.20】
57		酒田市立中央図書館(総合文化センターに併設)開館【4.1】
58		高島町立図書館、開館 【4.1】 天童市立図書館移転新築し、開館 【7.1】
60		鶴岡市立図書館移転新築し、開館 【7.24】
61		楡引町立図書館、開館 【4.--】
62		遅筆堂文庫(川西町)開館 【8.--】
63	「県立図書館、生涯教育センター」の着工 【1.30】	新庄市立図書館移転新築し、開館 【8.3】
平成元		山形地区図書館連絡協議会、現物(相互)貸借申合わせ実施 【10.20】
2	遊学館(県立図書館 6,085㎡、生涯学習センター 5,641㎡)へ移転、開館 【7.28】	
3	「山形県内出版物目録」刊行開始 【3.--】	飯豊町町民総合センター図書室、開館 【7.21】 遊佐町立図書館新築、開館 【7.23】 寒河江市立図書館移転新築し、開館 【12.10】
4		山形県公共図書館(図書室)相互貸借規程など図書館間協力に関する諸規程を整備 【10.21】
5	「山形県立図書館運営方針」【3.--】	山形県図書館協会、「特定主題文献目録」刊行 【3.--】
6		川西町立図書館・遅筆堂文庫、川西町フレンドリープラザに移転し、開館 【8.1】
7		河北町立中央図書館(総合交流センターに併設)開館【6.16】
8		上山市立図書館移転新築(カミンの5階)、開館 【6.1】
9		尾花沢市学習情報センター(悠美館)に尾花沢市民図書館移転 【4.29】
11		東根市さくらんぼ図書館(JRさくらんぼ東根駅舎に併設)開館 【12.4】
12	全国公共図書館奉仕部門研究集会を、遊学館において開催 【10.5～6】	朝日町立図書館(「創遊館」に併設)移転、開館 【6.5】
13		南陽市立図書館(「えくぼプラザ」内)移転 【3.27】
14	山形県立図書館ホームページを開設、インターネットによる蔵書検索の公開 【4.19】	
15	「県立図書館運営方針(改訂版)」【3.--】 山形県関係文献目録をインターネットに公開 【4.16】	
16		新聞雑誌に関する協定(分担収集)、施行 【6.30】
17	新図書館情報システム運用開始 【4.5】	ゆとり都OPAC公開 【3.18】 立川町、余目町合併により庄内町立図書館及び分館発足【7.1】 鶴岡市、藤島町、羽黒町、楡引町、朝日村、温海町合併により藤島、羽黒、楡引、朝日、温海分館発足 【10.1】 酒田市、八幡町、松山町、平田町合併により八幡、松山分館及びひらた図書センター発足 【11.1】

年	山形県立図書館	県内図書館等
平成18	開館日の拡大～祝日(月曜日及び年末年始を除く)、1月4日、12月28日を開館日に変更【4.1】 カウンター業務に全て司書有資格者(嘱託18名)を配置【4.1】 生涯学習センターに指定管理者制度を導入【4.1】	県教育委員会、「山形県子ども読書活動推進計画」策定【2.1】
19	山形県公立図書館横断検索システム運用開始【6.22】 インターネット予約貸出しシステム運用開始【10.2】	河北町立中央図書館、川西町立図書館、指定管理者制度導入【4.1】
20		天童市立図書館、指定管理者制度導入【4.1】
21		新庄市立図書館、長井市立図書館、指定管理者制度導入【4.1】
22	山形県立図書館開館100周年記念事業実施【11.6】	東根市さくらんぼ図書館、指定管理者制度導入【4.1】 村山市立図書館(「飯葉プラザ」内)移転【5.29】
23	図書館情報システム更新【3.1】	—
24		中山町立図書館移転、開館【4.30】
25	全国公共図書館研究会(サービス部門 総合・経営部門)を、村山市飯葉プラザで開催【10.24～25】	—
26	Facebook開設【2.21】	—
27	県図書館協議会が「県立図書館の将来のあり方について」を提言【3.18】 図書館ボランティア活動開始【8.1】	—
28	ICタグの導入・ICゲート設置【2.25】 「県立図書館活性化基本計画」策定【3.1】 マルチメディアDAISY図書貸出開始【4.1】	遊佐町立図書館、指定管理者制度導入【4.1】 市立米沢図書館(新文化複合施設「ナセBA」内)移転【7.1】 大江町立図書館移転、開館【7.18】 東根市図書館(東根市公益文化施設「まなびあテラス」内)移転【11.3】
29	図書館情報システム更新【3.14】 ・自動貸出機設置 ・ホームページのリニューアル(横断検索《市町村等図書館の蔵書検索》の検索時間短縮、貸出延長手続きがHPで可能に) 県立図書館の大規模改修計画の概要発表【12.19】	鶴岡市立図書館羽黒分館移転、開所【1.10】 大石田町立図書館新設・開館【9.1】
30	県立図書館大規模改修工事開始 第1期工事【9.1～12.28】	
31 令和元	県立図書館大規模改修工事 第2期工事【H31.2.1～R1.9.27】 第1期工事完了後の2階の一部を臨時図書館エリアとしてサービス開始【2.12】 リニューアルオープンに向けての臨時休館【9.15～R2.1.31】	白鷹町立図書館建替、開館【6.15】 高島町立図書館移転、開館【7.27】
02	新型コロナウイルス対応会議立上げ【1.31】 リニューアルオープン【2.1】(6,085㎡⇒7,282㎡) ・デッキエリア、こどもエリア、アクティブラーニングルーム、ティーンズコーナー、ビジネス支援コーナー等新設 ・Wi-Fi、デジタルサイネージ、駐車場等新設 開館日の拡大(第2、第4月曜日開館)【2.1～】 新型コロナウイルス感染予防のため利用制限開始【3.3～】 新型コロナウイルス感染予防のため臨時休館【3.28～5.11】 一部サービス再開、開館【5.12～】 開館時間20時まで拡充【8.1～】	—
03	ツイッター開設【8.18】 理科好きの子どもを育む人材育成に係る山形大学理学部等との連携協定締結【9.30】 Youtube開設【12.14】	—
04	「山形県立図書館運営基本プラン2025」の策定【3.1】	酒田市立中央図書館(複合施設酒田駅前交流拠点施設「ミライニ」内)移転【5.5】
05	図書館情報システム更新【3.1】	

2 山形県立図書館 令和5年度運営方針

I 運営方針

「山形県立図書館運営基本プラン2025（令和4年3月策定）」に掲げる『県民一人ひとりの生涯学習の基盤となり、知の集積と循環によって、新たな知恵や活力を生み出し、県民の成長と地域の賑わいに貢献する図書館』を目指し、“ときめく図書館”、“たよれる図書館”、“つながり・ひろがる図書館”の3つの行動指針等に基づき運営する。

II 今年度の施策

1 ときめく図書館 ～学びの意欲を喚起する空間の提供～

(1) 本との出会いを演出し、賑わいの拠点となる空間づくり

① 図書館機能を活用し、多様な主体と連携して実施する賑わいの創出

- ・多様な主体と連携し、民間など外部の視点によるアイデア等を取り入れるための「賑わいづくり企画・実行委員会」の開催（2回）
- ・年間を通した賑わいを創出するため、季節毎に図書館フェスタを開催（4回）
- ・継続的な来館を促進するため、テーマ性やストーリー性のある企画展示やイベントの計画的実施（例：出羽三山の精神文化、ウインタースポーツ・レジャー、山形暮らしの魅力など）
- ・多様な主体が図書館機能を活用して実施する取組みへの積極的な協力（近隣高校による各種講座や図書館コンサートの開催など）

② 知的探究心を刺激し、来館のきっかけとなる企画の実施

- ・社会情勢・時節を捉えたタイムリーな企画展示をはじめとした、県民と資料等を結ぶ多様な分野の企画展示や講座等の開催（SDGsをテーマにした「調べ学習」実践講座、図書館所蔵の農業系データベースを活用した農業支援講座の開催など）
- ・賑わい創出の取組みと連動した企画展示の実施
- ・県立図書館を拠点とした集いや学びを県全域へ発信・共有する、オンライン形式やハイブリッド形式による講座・イベントの開催

③ リニューアルした図書館の魅力を伝える企画展示やイベント等の継続的な開催

- ・年間を通した賑わいを創出するため、季節毎に図書館フェスタを開催（再掲）
- ・外部サイト（やまがた子育て応援サイト、親子お出かけ情報サイト「いこ～よ」）の活用による子どもとその家族をターゲットとした利用情報・イベント情報の発信
- ・ラジオモンスター「ママクラブ」での情報発信

④ 遊学館内の施設や近接する施設との連携による生涯学習の拠点機能の充実

- ・県生涯学習センターをはじめ、生涯学習の複合施設に所在する利点やカフェレストランが入居する特徴を活かした企画展示やイベント、情報発信の充実（チェリアフェスティバル（10月上旬）やレストランイルブルと連携した企画展示等）
- ・「歴史文化ゾーン」を構成する文翔館、洗心庵及び教育資料館等と連携したエリアとしての賑わいづくりの推進（4施設合同企画展示等）
- ・他の文化施設やイベントとの連携による回遊・来館の促進（「やまがた文化の回廊フェスティバル」への参加など）

⑤ 縣人文庫の展示の充実

- ・テーマ設定による常設展示内容の展示替え
- ・常設展示22人以外で、時宜に合わせて活躍した県人の企画展示を実施
(これまでの実績：日塔貞子(R2)、錦三郎(R3～R4) など)

⑥ 県立図書館職員の専門性と接客力の向上

- ・図書館業務に関する専門性の向上やデジタル化等の課題への対応に向けた、外部研修等への参加促進及び館内研修の開催

(2) 乳幼児から高齢者まで生涯にわたり利用できる図書館づくり

① 乳幼児期からの利用促進と読育の推進

- ・こどもエリアにおける月替わりのミニ展示の実施
- ・「紙芝居のひろば」(毎月第三土曜日)や「おはなし会」(毎月第四日曜日)など毎月定例的な読み聞かせ会の実施
- ・こどもの読書週間における企画展や関連行事「絵本とうたの会」の開催
(4・5月、絵本の展示、山形西高の合唱など)
- ・県国際交流協会と連携した交流員による外国絵本等の読み聞かせ会の開催(年4回)
- ・村山教育事務所等と連携した読育関連イベントの実施(10～12月)
- ・絵本作りを体験するイベントの開催(7月)【新規】

② 児童・生徒の利用促進

- ・ティーンズコーナーにおけるお薦め本の紹介展示(通年)
- ・高校生のおすすめ本やイラストの募集
- ・夏休み特集の展示(7・8月、自由研究・工作、読書感想文関連)
- ・「GATE☆BOOK」の発行

③ ビジネス及びリカレント等の支援

- ・担当司書企画によるミニ展示の実施(ビジネスマナーなど)
- ・県担当課・中小企業関連機関との連携展示の実施

④ 県民の読書活動の推進

- ・こどもの読書週間における企画展や関連行事「絵本とうたの会」の開催【再掲】
(4・5月、絵本の展示、山形西高の合唱など)
- ・秋の読書週間に合わせ、「県内出版物展」の開催(10・11月)

⑤ ユニバーサルデザインの視点に立ち、快適かつ安全安心に利用できるサービスの推進

- ・国や県の新型コロナウイルス対策に基づき、館内の感染防止対策を実施
- ・「遊学館」防災訓練の実施(2回実施、火災・地震を想定)
- ・防犯(不審者対策など)研修の実施
- ・対面朗読サービスの本格実施とサピエ図書館への加盟

【目標指標】

指 標 名	実 績	目 標
	令和2年度(2020年度)	令和5年度(2023年度)
新規利用登録者数	4,202人	各年度4千人以上
個人貸出冊数	290,773冊	360,000冊
イベント参加の満足度(5段階評価)	アンケートを実施した全てのイベント4以上※R3	アンケートを実施した全てのイベントで4以上

2 たよれる図書館 ～県民を支える資料の収集・活用と県内図書館との連携強化～

(1) 県民の暮らしや課題解決、調査研究を支援する蔵書づくり

- ① 「山形県に関する資料は県立図書館にある」ことを目指した郷土に関する資料の収集・保存とその効果的な活用
 - ・ 県立図書館資料収集方針に基づく資料の選定・収集・保存
 - 行政資料から民間出版物まで本県に関わる郷土資料の網羅的収集
 - 県人・県関係者の著作の積極的収集
 - ・ 郷土資料・行政資料の効果的な収集のため、新聞・雑誌等を活用した情報収集を行い、県内の学校や企業等に対し積極的な提供を依頼
 - ・ 郷土愛の育成に向け、豊かな自然、山形ならではの歴史や文化、特色ある産業など、本県の魅力を伝える図書資料の積極的な収集と企画展示等への活用
 - ・ 令和4年度やまがたの魅力理解促進事業で重点的に整備した、本県の豊かな自然、歴史や文化、産業に関する図書資料について、探究型学習等への活用を促進するための学校への周知・啓発【新規】
 - ・ パスファインダーの内容の見直し及び充実（47項目⇒48項目程度）
- ② 全世代の県民の学びと希望の実現を支援する資料の充実
 - ・ 県立図書館資料収集方針に基づく資料の選定・収集・保存（再掲）
 - 市町村立図書館での収集が困難な高額資料、専門書、参考資料等の収集
 - 県民の生涯学習や調査研究など課題解決のための資料収集
 - 県の施策に即した事業や社会的関心の高い分野に関する資料収集
 - リニューアルで新設・拡充したエリアの機能発揮に資する資料を積極的に収集
 - 活字による読書が困難な方へのサービス向上のためのデジタイズ図書、LLブック、大活字本等の整備
 - ・ 策定から20年が経過した資料収集方針について、社会情勢の変化や県民のニーズの多様化に対応した見直しを検討
- ③ 身近な課題の解決を支援する資料とレファレンス（調査相談）の充実
 - ・ 迅速な課題解決・回答に向けた採録項目・内容の充実
 - ・ ホームページ上の文献目録の充実
 - ・ 調査依頼から回答まで原則2週間以内での回答など迅速な対応によるサービスの充実
 - ・ 図書館資料公衆送信サービス開始に向けた検討
- ④ 安全安心に役立つ資料の収集保存と活用
 - ・ 大規模災害発生時等における関係する資料の網羅的収集と企画展示等での活用
- ⑤ 県内地方公共団体の政策決定や行政事務に必要な資料・情報の収集と提供
 - ・ 県の施策に即した事業や社会的関心の高い分野に関する資料収集（再掲）

(2) 県内図書館全体のサービス充実にに向けた県立図書館の役割の発揮

① 県立図書館の特性や役割を踏まえた県内図書館への支援の充実

- ・利用カードを持たない方でも県立所蔵の資料を借りられる「相互貸借」の周知強化
- ・市町村立図書館(室)の現状や課題の把握、情報共有等を目的とした実務者会議の開催と、巡回訪問の計画的な実施等による人的ネットワークの強化
- ・高等学校図書館、大学図書館の現状や課題の把握、情報共有等を目的とした巡回訪問の実施
- ・ニーズや課題を踏まえた、一括特別貸出及びセット貸出の充実及び貸出促進
- ・県内公共図書館が連携して新聞・雑誌を収集保存するための情報提供
- ・市町村立図書館(室)と連携した「移動図書館」の実施
- ・学校図書館のニーズを踏まえた「移動図書館」の実施【新規】

② 県内図書館を支える職員等の研修の充実

- ・「第43回山形県図書館研究大会」を、北日本図書館連盟大会(7月7日)と併せて開催
- ・受講者ニーズを踏まえた専門性の高い図書館職員専門研修の実施(3回)及び高等学校図書館、大学図書館への参加の呼びかけ(県図書館協会)
- ・学校教育研究会図書館部会等と連携した研修会への協力

③ 県内図書館との連携による重層的な図書館サービスの充実

- ・市町村立図書館(室)の現状や課題の把握、情報共有等を目的とした実務者会議の開催と、巡回訪問の計画的な実施等による人的ネットワークの強化(再掲)
- ・県内図書館との連携による「山形県図書館大賞2023」の実施
- ・市町村立図書館(室)との連携による、県人の生誕等に因んだ企画展示やイベント等の検討・実施

④ ウェブ会議システム等の活用による新たな連携の推進

- ・オンライン形式やハイブリッド形式による講座・イベントの開催(再掲)
- ・図書館職員専門研修のオンライン形式又はハイブリッド形式による実施

⑤ 県外図書館等とのネットワークの推進

- ・北日本図書館連盟大会(7月7日、遊学館)の開催、同研究協議会(11月16日・17日、盛岡市)への参加
- ・全国公共図書館協議会定期総会、国立国会図書館長との懇談会への参加、日本図書館協会主催全国図書館大会(11月16日・17日、盛岡市)、全国公共図書館研究集会への参加

【目標指標】

指標名	実績	目標
	令和2年度(2020年度)	令和5年度(2023年度)
蔵書回転率(個人貸出数/蔵書冊数)	40.2%	48%
パスファインダー数	45点	48点
県内市町村立図書館(室)への貸出冊数	6,136冊	9,000冊
学校図書館への延べ貸出回数(一括・セット)	17回	25回
図書館職員研修の参加満足度(5段階評価)	実施した全ての研修で4以上※R3	全研修で4以上

3 つながり・ひろがる図書館～デジタル化と連携協働によるサービスの充実～

(1) インターネットを活用した利便性の向上とデジタル化の推進

① アクティブラーニンググループを活用した情報受発信の強化

- ・ 県立図書館を拠点とした集いや学びを県全域へ発信・共有するための、オンライン形式やハイブリッド形式による講座・イベントの開催（再掲）
- ・ 県民の生涯学習の成果発表の場としての活用など、外部による利用促進に向けた広報の実施

② インターネットによる情報発信の更なる強化

- ・ ホームページ、Facebook、Twitter の運用と積極的な更新・投稿の実施、及び Instagram による情報発信についての検討【一部新規】
- ・ 県立図書館で実施する各種講座等のアーカイブ化及び動画配信の実施

③ 非来館型サービスの周知広報と利便性向上

- ・ 県内各地における「移動図書館」の実施による利用者登録の促進及びインターネット予約サービスの周知強化
- ・ ラッピングブックと合わせた宅配無料キャンペーンによる図書宅配サービスの利用促進（12月頃）
- ・ WEB 利用者登録申請の導入【新規】

④ 貴重資料のデジタル化による長期保存対策と利活用の推進

- ・ 令和4年度のやまがたの魅力理解促進事業で整備したデジタル貴重資料について、探究型学習等への活用を促進するための学校への周知・啓発【新規】

⑤ オンラインデータベースの活用の推進

- ・ オンラインデータベース活用講座の開催

⑥ レファレンスデータベースの充実

- ・ 国立国会図書館レファレンス協同データベースへの積極的な事例登録及び活用

⑦ 電子書籍サービスの検討

- ・ 各事業者の図書館向け電子書籍サービスの内容（特徴）に関する調査【新規】
- ・ 電子書籍サービス導入についての利用者ニーズの調査（利用者アンケート）【新規】
- ・ 県立図書館における電子書籍サービス導入に係る市町村調査（実務者会議等）【新規】
- ・ 導入時及び導入後の課題等の把握のための他県導入館への実地調査【新規】
- ・ 電子書籍サービスの提供に関する職員の理解を深める研修の実施【新規】
- ・ PDF など電子データでのみ発行されている刊行物等の収集・保存・利用の仕組みづくり

(2) 連携・協働によるサービスの充実

① 県民や団体等との連携・協働によるサービスの充実

- ・図書館で活動する団体との意見交換会等の実施
- ・排架等を行う図書館ボランティアの再開を検討
- ・運営協力サポーター制度（仮称）の検討と試行

② 協働による賑わいづくりを推進するネットワークづくり

- ・多様な主体と連携し、民間など外部の視点によるアイデア等を取り入れるための「賑わいづくり企画・実行委員会」の開催（再掲）
- ・図書館で活動する団体との意見交換会等の実施（再掲）

③ 次代に引き継ぐ資料の積極的な寄贈受入れ

- ・郷土資料・行政資料の効果的な収集のため、新聞・雑誌等を活用した情報収集を行い、県内の学校や企業等に対し積極的な提供を依頼（再掲）

④ ふるさと納税制度や雑誌スポンサー制度を活用した図書館機能の充実

- ・SNSやホームページ、オンラインイベント等を活用したふるさと納税の働きかけ
- ・雑誌スポンサー制度の周知広報と継続・拡大の働きかけの実施

⑤ 県民のニーズや意見をくみ取る広聴と施設運営

- ・県民のアイデアや企画、希望等を企画展示やイベント等に反映させるため、来館者に対するアンケート及びWEBによるオンライン方式によるアンケートを実施（6月）【一部新規】
- ・アンケート結果概要及びフォローアップ状況の公表

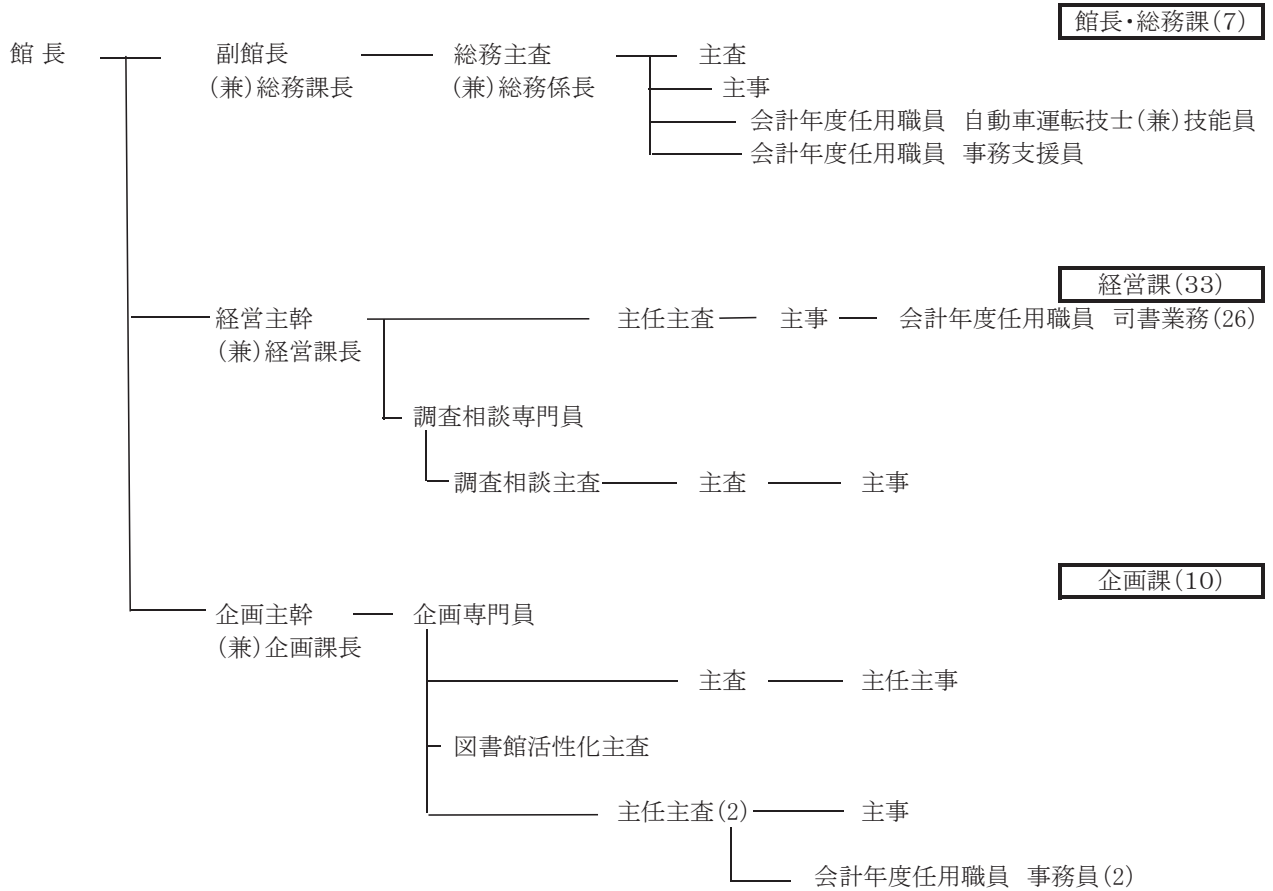
【目標指標】

指 標 名	実 績	目 標
	令和2年度(2020年度)	令和5年度(2023年度)
図書館ホームページの延べ閲覧ページ数 (ページビュー数)	1,398,489 ビュー	1,550,000 ビュー
インターネット予約貸出のうち他館受取冊数	3,757 冊	5,000 冊
図書館サポーターの延べ活動日数(人・日)	7人・日(R2蔵書点検)	今後設定
利用者アンケートの満足度(施設)	4.4 ※R3調査	4.5以上
利用者アンケートの満足度(スタッフ)	4.5 ※R3調査	4.5以上

3 山形県立図書館の組織

令和5年4月1日現在

(1) 組織



(2) 職員配置

	館長	副館長	主幹	課長	専門員	主査	主任主査	係長主査	主任主事	正職員計	会計年度任用職員(技能員)	会計年度任用職員(司書業務)	会計年度任用職員(事務)	合計
館長	1									1				1
副館長		1								1				1
主幹			2							2				2
総務課				(1)		1		(1)	1	(2) 3	1		1	(2) 5
経営課				(1)	1 1	1	1	1	2	(1) 1 6		22 26		(1) 23 32
企画課				(1)	1	1	2	1	1 2	(1) 1 7			1 2	(1) 2 9
計	1	1	2	(3)	2	3	3	(1) 3	1 5	(4) 2 20	1	22 26	1 3	(4) 25 50

※()は兼務、斜字は司書・司書補有資格者で内数

4 図書館協議会

(1) 図書館協議会

①図書館法第14条に基づき、公立図書館に図書館協議会を置くことができる。

②任務

- ・図書館の運営に関し館長の諮問に応ずる。
- ・図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる。

(2) 図書館協議会（山形県立図書館）

①山形県立図書館条例第4条の規定により昭和27年に設置

②委員の任命基準

- ・学校教育・社会教育の関係者
- ・家庭教育の向上に関する活動を行うもの
- ・学識経験者

③委員定数

7名

④任期

2年間

⑤委員名簿（令和5年1月21日～令和7年1月20日）

（敬称略、五十音順）

氏名	役職	備考
伊勢 博	株式会社アーキネット 代表取締役	
井上 陽子	株式会社アサヒマーケティング 子育て情報誌マーメイド編集長	
北口 己津子	山形県立米沢女子短期大学 准教授	
庄司 雅和	山形県学校図書館連絡協議会 会長 （山形市立蔵王第一中学校 校長）	
高橋 一枝	新庄市立図書館 館長 一般社団法人とらいあ 専務理事	
橘 拓	山形新聞社 編集局編集総務兼報道部長	
藤川 かん奈	合同会社Oriori CEO 山形県社会教育委員	

（役職は令和5年4月1日現在）

5 山形県立図書館の予算・決算

(単位:千円)

事業名	平成30年度 (決算)	令和元年度 (決算)	令和2年度 (決算)	令和3年度 (決算)	令和4年度 当初予算	令和5年度 当初予算	令和5年度の 主な事業
県立図書館協議会費	0	0	71	86	229	219	・協議会開催経費等
県立図書館運営費 ★	59,216	66,096	60,973	60,564	49,716	56,896	
図書館管理運営費	38,504	45,318	47,390	47,370	41,046	51,127	・光熱水費、消耗品、通信費、大会・研修旅費等
図書館管理運営費 (コンピュータ関連)	20,712	20,778	13,583	13,194	8,670	5,769	・図書館情報システムハードウェア等賃借料
図書資料整備事業費	21,877	21,472	24,489	23,289	22,933	23,367	
図書資料充実費	19,791	17,627	22,330	21,125	20,300	20,784	・一般図書、逐次刊行物等
視聴覚資料整備費	2,086	3,845	2,138	2,129	2,593	2,521	・CD・DVD等
ふるさと納税活用分	0	0	21	35	6	28	
障がい者サービスの充実	-	-	0	0	34	34	・対面朗読サービス
奉仕活動事業費	2,245	1,810	1,749	1,963	2,061	2,061	・新聞、雑誌製本等
県民が集い・学ぶ県立図書館整備事業費	379,359	647,809	1,393	1,361	8,418	1,876	・講座、イベント開催経費等 ・電子図書館の実施に向けた調査研究
合 計	462,697	737,187	88,675	87,263	83,357	84,419	

★ 本庁執行分を除く。

6 施設の現状

- (1) 名称 山形県立図書館（「遊学館」）
- (2) 構造 鉄骨鉄筋コンクリート造 地下2階・地上2階
 (遊学館 地下2階・地上4階)
- (3) 面積 敷地面積 9,769.62 m² 建築面積 4,819 m²
 図書館延床面積 7,282 m² (遊学館 11,933 m²)

階	区分	面積	階	区分	面積
塔屋	機械室	167.4 m ²	1階	製本室	62.6 m ²
	その他	57.3 m ²		ワークルーム	39.8 m ²
	計	224.7 m ²		図書選択室	59.1 m ²
2階	館長室	46.8 m ²		ロッカー室	23.8 m ²
	事務室	240.0 m ²		車庫	64.6 m ²
	サーバー室	14.2 m ²		アクティブ ラーニングルーム	77.7 m ²
	郷土資料閉架書庫	121.2 m ²		おはなしのへや	34.5 m ²
	研究室	28.2 m ²		赤ちゃん休憩室	15.3 m ²
	開架室	1,067.2 m ²		開架室	2,256.5 m ²
	その他	194.7 m ²		その他	241.3 m ²
	計	1,712.3 m ²	計	2,875.2 m ²	
				地下1階	書庫
その他					22.6 m ²
計					110.2 m ²
地下2階				書庫	1,042.9 m ²
				機械室	1,272.4 m ²
				その他	44.3 m ²
				計	2,359.6 m ²
合計					7,282 m ²

《参考》 令和2年2月 リニューアルオープン：総工費 約 11.6 億円
 (遊学館全体、工期：平成30年7月～令和元年9月)

7 所 蔵 資 料 (令和5年3月末現在)

(1) 蔵書、視聴覚資料等

(単位：冊、点)

		令和3年度末蔵書数			令和4年度末蔵書数			増減数		
		図書	逐刊	計	図書	逐刊	計	図書	逐刊	計
0	総記	26,324	29,205	55,529	26,649	30,198	56,847	325	993	1,318
1	哲学・宗教	30,401	2,627	33,028	30,757	2,683	33,440	356	56	412
2	歴史・地誌	59,582	5,408	64,990	60,264	5,569	65,833	682	161	843
3	社会科学	136,962	32,905	169,867	138,536	33,840	172,376	1,574	935	2,509
4	自然科学	43,508	9,007	52,515	44,081	9,213	53,294	573	206	779
5	技術・工学	51,289	14,147	65,436	51,975	14,601	66,576	686	454	1,140
6	産 業	42,238	11,330	53,568	42,610	11,601	54,211	372	271	643
7	芸 術	43,697	15,078	58,775	44,343	15,440	59,783	646	362	1,008
8	言 語	13,744	915	14,659	13,869	935	14,804	125	20	145
9	文 学	113,611	16,621	130,232	114,854	16,964	131,818	1,243	343	1,586
小 計		561,356	137,243	698,599	567,938	141,044	708,982	6,582	3,801	10,383
K	郷土資料	124,439	18,845	143,284	125,998	19,282	145,280	1,559	437	1,996
Z	児 童	43,430	0	43,430	44,506	0	44,506	1,076	0	1,076
P	紙 芝 居	1,104	0	1,104	1,130	0	1,130	26	0	26
F	洋 図 書	4,776	0	4,776	4,802	0	4,802	26	0	26
蔵書冊数		735,105	156,088	891,193	744,374	160,326	904,700	9,269	4,238	13,507

※増加数は登録数から除籍数を引いた数

※0～9門の逐次刊行物には児童雑誌も含む

DVD (ビデオディスク)		3,360		3,434		74
デイジー		116		120		4
CD		3,715		3,733		18
ビデオテープ		4,420		4,420		0
カセットテープ		650		650		0
視聴覚他		52		52		0
視聴覚資料(点)		12,313		12,409		96

新聞合本(冊)		8,760		8,897		137
マイクロフィルム(点)		7,424		7,424		0

資料数合計		919,690		933,430		13,740
--------------	--	----------------	--	----------------	--	---------------

(2) データベース(オンライン資料)

データベース名	データベースの概要	検索・閲覧対象期間
山形新聞記事データベース	山形新聞に掲載された県内の記事の本文を検索・閲覧可能。	1999年12月～
朝日新聞クロスサーチ (朝日新聞記事等データベース)	朝日新聞東京本社発行の最終版の記事、沖縄以外の各都道府県の地方版記事の本文・縮小版を検索・閲覧可能。2005年11月からの記事は切り抜き・紙面イメージも見る事が可能。 「AERA」(創刊号～)、「週刊朝日」のニュース面(2000年4月～)の記事も検索・閲覧可能。	1945年～ 地方版のうち山形版は1997年1月～ 庄内版は2010年2月～
日経テレコン21 (日経記事等データベース)	日本経済新聞(地方経済面含む1981年～)、日経産業新聞、日経流通新聞MJ及び日経金融新聞の記事の本文を検索・閲覧可能。 他、日経速報ニュース、企業情報・企業決算、人事情報・人事記事、英字記事、マーケット概況・マクロ経済統計・地域経済統計等も検索・閲覧可能。	日本経済新聞、日経産業新聞、日経流通新聞は1981年～ 日経金融新聞は1987年10月～
D1-Law.com (第一法規法情報総合データベース)	憲法、条約、法律、政令、勅令、府令・省令、規則、告示までの3万1千件余の法令、約22万件の判例本文とこれらを理解するための要旨・解説情報、幅広い収録対象誌から収集した約64万5千件の文献情報等の法情報を検索・閲覧可能。	旧憲法下～現在
官報情報検索・閲覧サービス	官報(本紙、号外、政府調達公告版、資料版、目録)を検索・閲覧可能。	1947年5月3日日本国憲法施行日～当日発行分
国立国会図書館デジタル化資料送信サービス	国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、インターネット公開されておらず、絶版等の理由で入手困難な約184万点の資料(令和5年2月時点)が検索・閲覧可能。	昭和43年までに受け入れた図書 約56万点・明治期以降の貴重書等 約2万点・明治期以降に発行された雑誌(商業出版されていないもの) 約1万タイトル(約82万点)・平成2～12年度に送付を受けた論文(商業出版されていないもの) 約13万点・昭和55年以前の放送脚本の一部約3千点
国立国会図書館歴史的音源配信提供サービス	歴史的音盤アーカイブ推進協議会(HiRAC)がデジタル化した資料のうち、インターネット公開されておらず、絶版等の理由で入手困難な約5万点の音源(令和3年1月時点)を検索・視聴可能。	1900年初頭から1950年頃までに国内で製造されたSP盤及び金属原盤等に収録された5万点の音源
ルーラル電子図書館	農業系に特化したデータベース。一般社団法人農山漁村文化協会出版の図書(「農業技術大系」等)、雑誌(「現代農業」等)を検索・閲覧可能。また、農作業の技術などを収録した動画も閲覧可能。	各収録作品により異なる。

いずれのデータベースも資料によっては、著作権等の理由から検索・閲覧できない場合有。

8 レファレンス協同データベース（国会図書館）

国立国会図書館が全国の図書館等と協同で構築している、調べ物のためのデータベース

《URL: <https://crd.ndl.go.jp/reference/>》

・当館で登録したレファレンス事例件数 486件（2023年3月末現在）

【登録例】

管理番号	質 問
山形県 -2019-0001	「耳なし芳一」のような、「お坊さん」が出てきて「耳を切られる」などの内容がある山形県の民話はあるか。
山形県 -2019-0002	山形県内のオオカミの生存、信仰などについて書いた資料を探している
山形県 -2019-0003	横光利一の『夜の靴』に、横光利一が昭和20年に山形県鶴岡に疎開した折、醤油醸造を営む素封家の井上松太郎・作松兄弟の邸宅が主宰する座談会に招かれた時のことが書かれていますが、座談会の具体的な名称が出てきません。その座談会が「鶏鳴会」という名称だったことをインターネット上で見つけましたが、この座談会について記された資料を探している。
山形県 -2019-0004	『日本現代文学全集 51 斎藤茂吉』所収の歌集『暁紅』昭和十年「胡茱萸を愛する歌」の中に「赤々と色づきそめし茱萸の實は六月二日に十まり七つ」という歌が集録されていますが、「六月二日に十まり七つ」とはどういう意味でしょうか。
山形県 -2019-0005	「庄内砂丘」について、江戸期より、砂丘地を切り開き、黒松を植林し、メロン栽培をしている経緯などを調べている。 植林の様子や黒松林の風景などを写した古い写真の所蔵、または、掲載資料を見たい。
山形県 -2019-0006	東北六県を舞台にした映画タイトルを調査している。 貴館で、山形県内で撮影されたり、物語の舞台となった映画について、情報がまとめて見られるような資料がありましたら、教えてほしい。
山形県 -2019-0007	山形県を中心に残る「ムカサリ絵馬」の奉納にに関する資料を探している。
山形県 -2021-0001	『週刊 日本の城 第19巻』に「美しい櫓で評判になったという」と紹介されている山形城の月見櫓と、インターネット（米沢観光コンベンション協会）で存在を知った米沢城の月見櫓の資料を見たい。
山形県 -2022-0001	山形県内に大正時代に存在していた百貨店はどのような経営を行っていたのかわかる資料を見たい。
山形県 -2023-0001	明治12年に鶴岡士族・榊原十兵衛が士族授産のために設立した鶴岡製塩社（鶴岡製塩株式会社）の株主名、役員名など設立当初の内容がわかる資料を見たい。

9 パスファインダー

調べたいテーマに関連する資料・情報の探し方や入手方法などを紹介するため、平成23年度から「パスファインダー」の作成に取り組んできている。

郷土関係の項目を中心として様々なテーマについてパスファインダーを作成し、館内に配置するとともに、ホームページで公開している。

No.	テ ィ マ
1	郷土の人物について調べる
2	山形県の郷土料理について調べる
3	立石寺（山寺）について調べる
4	最上川について調べる
5	山形県の神社・寺院について調べる
6	単位について調べる
7	紅花について調べる
8	出羽三山の修験道について調べる
9	最上義光について調べる
10	山形の地震について調べる
11	山形県の地図(種類・発行年)の所蔵状況について調べる
12	節電について調べる
13	山形の方言について調べる
14	山形の温泉について調べる
15	山形の伝統工芸について調べる
16	初市・植木市について調べる
17	芭蕉がたどった山形路について調べる
18	啓翁桜について調べる
19	山形の伝統芸能について調べる
20	山形の民話・昔話について調べる
21	山形の祭りについて調べる
22	サクランボについて調べる
23	山形の鉄道について調べる
24	樹氷について調べる
25	山形のそばについて調べる
26	山形の山菜・きのこについて調べる
27	山形のお酒について調べる
28	医療情報について調べる

29	企業情報について調べる
30	自由研究・自由工作について調べる
31	山形のお城について調べる
32	認知症（介護と予防）について調べる
33	花笠まつりと花笠踊りについて調べる
34	芋煮会について調べる
35	山形の漬物について調べる
36	山形の伝統（伝承）野菜について調べる
37	たばこと健康について調べる
38	天童の将棋駒について調べる
39	新庄まつりについて調べる
40	発達障がいについて調べる
41	山形の（歴史）街道について調べる
42	山形の山について調べる
43	山形の地名について調べる
44	山形のお米について調べる
45	感染症を調べる
46	文翔館（山形旧県庁）について調べる
47	LGBTQについて調べる

10 セット資料貸出

令和2年2月のリニューアルオープンを機に、県内の児童・生徒の読書活動を支援する「セット資料貸出」を開始。令和3年度に2テーマ追加し40テーマとしている。主に市町村図書館（室）、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校を対象に貸出。

セットテーマ一覧

	テーマ名	テーマ内容	対象	セット内冊数	セット数
1	修学旅行（京都・奈良）	京都・奈良の遺産・社寺・歴史を学ぶ本	高校生	30	3
2	戦争と平和（小中学生）	戦争をテーマにした本、絵本	小～中学生	30	1
3	戦争と平和（高校生）	戦争をテーマにした本、絵本、写真集	高校生	30	1
4	仕事について学ぶ	仕事、職業について学ぶ本	小～中学生	24	2
5	調べ学習	調べ学習や総合的な学習に関する本	小～中学生	25	2
6	防災	災害や防災を学ぶ本	小～中学生	30	2
7	バリアフリーを学ぶ	バリアフリー、点字、手話の本	小～中学生	28	1
8	自由研究・工作	自由研究・工作に役立つ本	小～中学生	30	3
9	生活習慣病（小中学生）	生活習慣病・薬物・喫煙について学ぶ本	小～中学生	25	2
10	生活習慣病（高校生）	生活習慣病・薬物・喫煙について学ぶ本	高校生	22	3
11	環境（小中学生）	環境問題について学ぶ本	小～中学生	29	2
12	環境（高校生）	環境問題について学ぶ本	高校生	29	1
13	SDGs（環境分野）	SDGsの取り組みについて考える本	高校生	25	1
14	SDGs（社会分野）	SDGsの取り組みについて考える本	高校生	24	1
15	SDGs（経済分野・ガバナンス）	SDGsの取り組みについて考える本	高校生	20	1
16	情報モラル	ネットやSNSの使い方を学ぶ本	小～中学生	26	1
17	お米について	米や米作りについて学ぶ本	小～中学生	26	2
18	世界遺産・文化財	世界遺産・文化財・文化遺産の本	小～中学生	28	1
19	日本の伝統芸能	歌舞伎・能などの伝統芸能を学ぶ本	小～中学生	28	1
20	スポーツ	運動・スポーツの実技に関する本	小～中学生	29	1
21	英語に親しむ	英語の本、図鑑	小学生	29	1
22	古典に親しむ	やさしい古典の本	小～中学生	35	2
23	源氏物語を読む	源氏物語の原文・現代語訳・評釈の本	高校生～一般	30	1
24	日本の昔話絵本	日本の昔話の絵本	小学生～一般	24	1
25	世界の昔話	世界各国の昔話の本・絵本	一般	24	1
26	よみきかせ絵本（1）	よみきかせ用絵本	一般	16	1
27	よみきかせ絵本（2）	よみきかせ用絵本	一般	16	1
28	よみきかせ絵本（幼児）	よみきかせ用絵本	一般	13	1
29	よみきかせ絵本（小学校低学年）	よみきかせ用絵本	一般	20	1
30	よみきかせ絵本（小学校高学年）	よみきかせ用絵本	一般	19	1
31	山形県出身作家の絵本（1）	山形県出身作家の絵本	小学生～一般	15	1
32	山形県出身作家の絵本（2）	山形県出身作家の絵本	小学生～一般	14	1
33	浜田広介の本	浜田広介の本	小学生～一般	22	1
34	宮沢賢治の絵本	宮沢賢治の絵本	小学生～一般	32	1
35	椋鳩十の本	椋鳩十の本	小学生～一般	12	1
36	県人作家の小説	山形県出身や在住作家の小説	一般	32	1
37	日本文学アルバム	日本文学作家の伝記	一般	40	1
38	台湾	台湾の料理、観光地などのガイドブック	一般	20	2
39	仕事について学ぶ	仕事、資格について学ぶ本	高校生	37	1
40	名言集	生きる支えとなる言葉の本	高校生	34	1

11 絵本の本棚

平成20年度、山形県子ども読書活動推進計画にもとづく取組みの一つとして、子どもたちに読み聞かせをしている方々に向けて、絵本選びの参考として活用していただくために、テーマ別の絵本リスト「絵本の本棚」の作成を開始した。

対象者は幼児から小学生を目安として、当館の児童向け展示のテーマに合わせてリストを作成している。こどもエリアに配置するとともに、ホームページで公開している。

No.	テーマ	No.	テーマ
1	かがくの本	17	はるの絵本
2	大型絵本	18	雨の絵本
3	乗り物の本	19	マツリとカミサマ
4	こわい絵本	20	山の絵本
5	おいしい絵本	21	海の絵本
6	クリスマス	22	妖怪の絵本
7	むかしばなしの絵本	23	星と月
8	おとうさん、おかあさん	24	かみしばい 春夏秋冬
9	(更新中)	25	からだのふしぎ
10	おじいちゃん、おばあちゃん	26	おやすみなさいの絵本
11	赤ちゃん絵本	27	ことばのリズムを楽しむ絵本
12	きょうだい	28	虫・ムシ・むしの本
13	ともだち	29	おたんじょうび おめでとう
14	なつの絵本	30	ふしぎなおはなし
15	あきの絵本	31	おてがみの絵本
16	ふゆの絵本		

12 ティーンズコーナー・GATE★BOOK(ゲートブック)

平成22年度こどもの読書週間企画展において10代の若者を対象にした「ヤングアダルトおすすめ本」を展示紹介したが、終了後も引き続き通年展示とし、図書館職員からのおすすめ本等を掲載したリストを作成し配置していた。

平成24年1月からは、展示コーナーの名称を「ティーンズコーナー」に変更し、ヤングアダルト向けの新着本を紹介するリスト「GATE★BOOK」を作成し常置している。「GATE★BOOK」は、当館利用者からイラストを募集し表紙にしたり、イベント・企画を紹介したりするなど様々な工夫をしながら発行している。

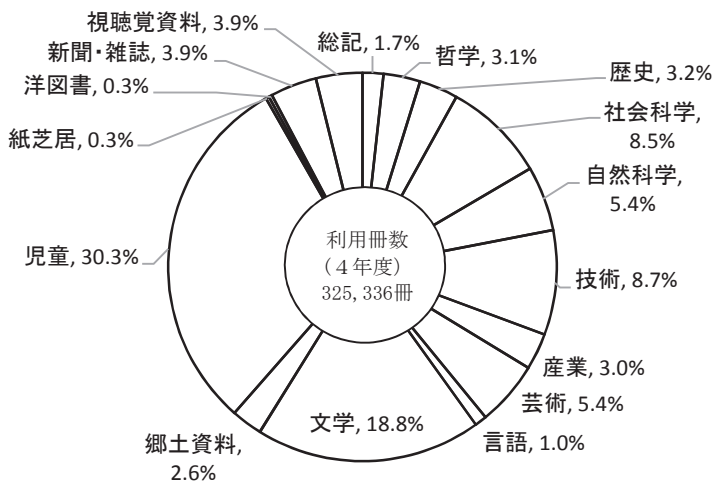
13 利用の状況

(1) 図書館利用概況

① 入館者・登録者数・個人貸出冊数

区分	開館日数 (日)	入館者数(人)		登録者数(人)		個人貸出冊数(冊)	
		総数	1日平均	新規	累計	総数	1日平均
30年度	239	126,975	531	1,631	109,543	137,790	576
元年度	186	99,131	532	3,511	113,054	124,408	668
2年度	274	177,058	646	4,202	117,256	290,773	1,061
3年度	313	212,545	679	3,264	120,520	334,291	1,068
4年度	308	237,510	771	3,393	123,913	325,336	1,056

② 分類別利用状況(個人貸出冊数)

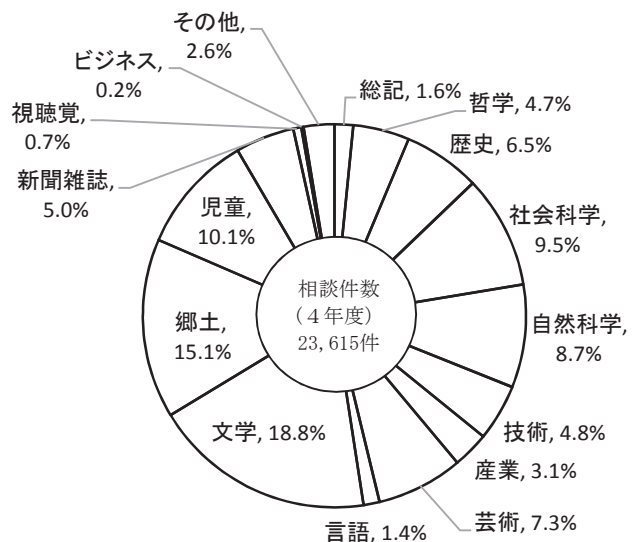


③ 相互貸借冊数

区分	相互貸借冊数(冊)	
	貸出	借受
30年度	8,192	533
元年度	5,850	414
2年度	6,701	759
3年度	4,382	820
4年度	3,624	841

④ 調査相談件数

区分	調査相談(件)		
	郷土資料	一般資料	計
30年度	1,344	3,017	4,361
元年度	543	1,964	2,507
2年度	1,789	2,177	3,966
3年度	3,250	20,269	23,519
4年度	3,575	20,040	23,615



※令和3年度以降調査相談件数には所蔵レシート出納件数を含む。

(2) 図書資料利用状況の推移

(単位:冊、%)

	30年度			元年度			2年度			3年度			4年度		
	冊数	構成比	前年比	冊数	構成比	前年比	冊数	構成比	前年比	冊数	構成比	前年比	冊数	構成比	前年比
0 総記	2,880	2.09	80.7	2,727	1.98	94.7	5,384	1.85	197.4	6,030	1.80	112.0	5,667	1.74	94.0
1 哲学・宗教	6,044	4.39	75.4	4,823	3.50	79.8	9,162	3.15	190.0	10,302	3.08	112.4	9,933	3.05	96.4
2 歴史・地誌	8,161	5.92	71.4	5,886	4.27	72.1	9,476	3.26	161.0	10,238	3.06	108.0	10,515	3.23	102.7
3 社会科学	12,337	8.95	63.9	10,135	7.36	82.2	26,600	9.15	262.5	28,520	8.53	107.2	27,764	8.53	97.3
4 自然科学	7,753	5.63	56.0	6,992	5.07	90.2	15,395	5.29	220.2	17,530	5.24	113.9	17,585	5.41	100.3
5 技術・工学	11,313	8.21	65.8	11,218	8.14	99.2	27,327	9.40	243.6	29,207	8.74	106.9	28,285	8.69	96.8
6 産業	5,169	3.75	70.3	4,409	3.20	85.3	9,814	3.38	222.6	10,076	3.01	102.7	9,868	3.03	97.9
7 芸術	7,606	5.52	64.5	6,428	4.67	84.5	14,627	5.03	227.6	17,208	5.15	117.6	17,529	5.39	101.9
8 言語	1,722	1.25	65.6	1,528	1.11	88.7	2,713	0.93	177.6	3,471	1.04	127.9	3,247	1.00	93.5
9 文学	30,961	22.47	67.4	24,412	17.72	78.8	55,542	19.10	227.5	62,486	18.69	112.5	61,096	18.78	97.8
小計	93,946	68.18	66.6	78,558	63.15	83.6	176,040	60.54	224.1	195,068	58.35	110.8	191,489	58.86	98.2
K 郷土資料	7,042	5.11	76.3	5,555	4.03	78.9	6,701	2.30	120.6	8,294	2.48	123.8	8,426	2.59	101.6
Z 児童	20,406	14.81	57.9	27,176	19.72	133.2	83,192	28.61	306.1	101,191	30.27	121.6	98,485	30.27	97.3
P 紙芝居	431	0.31	81.6	322	0.23	74.7	770	0.26	239.1	970	0.29	126.0	894	0.27	92.2
F 洋図書	167	0.12	38.8	398	0.29	238.3	1,046	0.36	262.8	1,093	0.33	104.5	917	0.28	83.9
新聞・雑誌	7,095	5.15	66.2	5,175	3.76	72.9	10,953	3.77	211.7	13,138	3.93	119.9	12,527	3.85	95.3
視聴覚資料	8,703	6.32	51.4	7,224	5.24	83.0	12,071	4.15	167.1	14,537	4.35	120.4	12,598	3.87	86.7
小計	43,844	31.82	60.0	45,850	36.85	104.6	114,733	39.46	250.2	139,223	41.65	121.3	133,847	41.14	96.1
貸出冊数計	137,790	100.00	64.3	124,408	100.00	90.3	290,773	100.00	233.7	334,291	100.00	115.0	325,336	100.00	97.3

(3) 図書資料貸出利用の年齢構成

区分	利用者数 (人)					貸出資料数 (冊)				
	0～20代	30～50代	60代以上	その他	合計	0～20代	30～50代	60代以上	その他	合計
30年度	6,681	18,131	16,537	2,183	43,532	22,323	57,854	47,538	10,075	137,790
構成比	15.35	41.65	37.99	5.01	100.00	16.20	41.99	34.50	7.31	100.00
元年度	6,520	16,149	11,943	1,877	36,489	24,675	57,104	34,699	7,930	124,408
構成比	17.87	44.26	32.73	5.14	100.00	19.84	45.90	27.89	6.37	100.00
2年度	16,520	34,988	22,882	3,002	77,392	65,856	135,122	74,322	15,473	290,773
構成比	21.35	45.21	29.57	3.88	100.00	22.65	46.47	25.56	5.32	100.00
3年度	18,812	42,385	26,851	2,851	90,899	75,796	160,320	84,173	14,002	334,291
構成比	20.70	46.63	29.54	3.14	100.00	22.67	47.96	25.18	4.19	100.00
4年度	15,765	40,762	28,245	3,750	88,522	63,554	155,493	88,698	17,591	325,336
構成比	17.81	46.05	31.91	4.24	100.00	19.53	47.79	27.26	5.41	100.00

(4) 図書資料予約受付数

区分	予約受付冊数	うちインターネット予約	
		予約数	構成比
30年度	16,675	13,806	82.8%
元年度	12,639	10,352	81.9%
2年度	23,608	19,155	81.1%
3年度	26,258	21,276	81.0%
4年度	25,559	20,164	78.9%

(5) 県立図書館から市町村立図書館(室)への貸出数推移
(相互貸借及び一括特別貸出)

(単位:冊、%)

	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	冊数	構成比	冊数	構成比	冊数	構成比	冊数	構成比	冊数	構成比
山形市	127	1.07	91	1.12	203	2.28	224	3.10	127	2.02
寒河江市	51	0.43	35	0.43	68	0.76	85	1.18	94	1.49
上山市	95	0.80	61	0.75	64	0.72	58	0.80	67	1.06
村山市	72	0.61	18	0.22	43	0.48	62	0.86	58	0.92
天童市	58	0.49	67	0.82	51	0.57	97	1.34	79	1.26
東根市	62	0.52	56	0.69	66	0.74	74	1.03	46	0.73
尾花沢市	57	0.48	55	0.67	24	0.27	27	0.37	31	0.49
山辺町	937	7.91	144	1.77	216	2.42	316	4.38	296	4.70
中山町	24	0.20	13	0.16	20	0.22	8	0.11	13	0.21
河北町	29	0.24	22	0.27	47	0.53	51	0.71	41	0.65
西川町	691	5.83	32	0.39	50	0.56	51	0.71	26	0.41
朝日町	54	0.46	12	0.15	49	0.55	36	0.50	24	0.38
大江町	82	0.69	77	0.94	84	0.94	103	1.43	58	0.92
大石田町	92	0.78	43	0.53	80	0.90	158	2.19	84	1.34
村山地域計	2,431	20.51	726	8.91	1,065	11.95	1,350	18.70	1,044	16.59
新庄市	189	1.59	155	1.90	94	1.05	106	1.47	109	1.73
金山町	0	0.00	0	0.00	14	0.16	1	0.01	4	0.06
最上町	4,538	38.29	3,309	40.60	3,348	37.57	279	3.87	195	3.10
舟形町	60	0.51	37	0.45	38	0.43	22	0.30	20	0.32
真室川町	879	7.42	13	0.16	44	0.49	98	1.36	51	0.81
大蔵村	0	0.00	0	0.00	0	0.00	2	0.03	0	0.00
鮭川村	0	0.00	0	0.00	1	0.01	0	0.00	0	0.00
戸沢村	437	3.69	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
最上地域計	6,103	51.49	3,514	43.11	3,539	39.71	508	7.04	379	6.02
米沢市	148	1.25	98	1.20	126	1.55	149	1.83	153	2.43
長井市	268	2.26	90	1.10	87	1.07	128	1.57	57	0.91
南陽市	134	1.13	29	0.36	31	0.38	30	0.37	30	0.48
高島町	25	0.21	4	0.05	26	0.32	28	0.34	17	0.27
川西町	13	0.11	19	0.23	26	0.32	12	0.15	6	0.10
小国町	366	3.09	67	0.82	105	1.29	183	2.25	223	3.54
白鷹町	175	1.48	57	0.70	213	2.61	281	3.45	308	4.90
飯豊町	208	1.75	113	1.39	220	2.70	195	2.39	130	2.07
置賜地域計	1,337	11.28	477	5.85	834	10.23	1,006	12.34	924	14.69
鶴岡市	269	2.27	218	2.67	252	2.83	297	4.11	247	3.93
酒田市	211	1.78	136	1.67	191	2.14	145	2.01	145	2.30
庄内町	99	0.84	96	1.18	78	0.88	140	1.94	146	2.32
三川町	88	0.74	97	1.19	115	1.29	172	2.38	106	1.68
遊佐町	63	0.53	41	0.50	62	0.70	52	0.72	66	1.05
庄内地域計	730	6.16	588	7.21	698	7.83	806	11.17	710	11.28
県内計	10,601	89.44	5,305	65.08	6,136	68.86	3,670	50.85	3,059	48.62
その他	617	5.21	2,327	28.55	2,210	24.80	2,878	39.87	2,692	42.78
県外	635	5.36	519	6.37	565	6.34	670	9.28	541	8.60
合計	11,853	100.00	8,151	100.00	8,911	100.00	7,218	100.00	6,292	100.00

(6) 調査相談件数の内訳

① 部門別件数

(単位:件)

区分	K 郷土	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会	4 自然	5 技術	6 産業	7 芸術	8 言語	9 文学	ビジネス	Z 児童	S 新・雑	V 視聴覚	その他	計
30年度	1,344	44	132	352	271	169	152	145	264	71	650	—	505	181	70	11	4,361
元年度	543	35	65	128	177	102	113	54	128	39	247	166	167	131	42	370	2,507
2年度	1,789	53	100	217	138	232	94	54	88	57	208	—	256	27	589	64	3,966
3年度	3,250	373	1,132	1,494	2,503	1,044	1,054	787	2,024	269	4,947	14	2,389	1,095	174	970	23,519
4年度	3,575	374	1,118	1,539	2,255	2,052	1,127	724	1,723	320	4,433	44	2,387	1,172	162	610	23,615

※令和3年度以降 部門別件数には所蔵レシート出納件数を含む。

② 調査内容別件数

(単位:件)

区分	所蔵	書誌	事実	文献	複写	案内	計
30年度	3,780	11	120	200	199	51	4,361
元年度	1,506	151	51	171	173	455	2,507
2年度	18,417	174	174	420	551	1,399	21,135
3年度	21,458	22	223	351	240	1,225	23,519
4年度	21,817	10	204	278	361	945	23,615

※令和2年度以降 調査内容別件数の所蔵には所蔵レシート出納件数を含む。

14 令和4年度の主な取組み

I 新型コロナウイルス感染防止の取組み

県立図書館は、乳幼児から高齢者まで不特定多数の方が集まる施設であり、かつ、図書資料等を多数の方が共有する施設である。

このため、知る自由を持つ県民に、資料と施設を提供する重要な任務を最大限保持するため、感染拡大のフェーズ・危険度に合わせた感染防止対策を行った。

(1) 基本的な考え方

入館時の検温・手指消毒の徹底、ソーシャルディスタンスの確保

※ 職員・司書は登庁時に非接触式電子温度計での検温

(2) 具体的な取組み、対策

- ・入館者に留意事項について掲示（エントランスほか）
- ・アルコール消毒液の設置（エントランス、各カウンター、記帳台、ワークスペース、トイレ、検索機ほか）
- ・ソーシャルディスタンスの床面への表示（1階 2か所、2階 1か所）
- ・総合案内カウンター前へ「書籍用除菌ボックス」の設置
- ・各カウンターへのビニールカーテンの設置（1階 2か所、2階 1か所）
- ・総合案内デスク等へアクリル板の設置
- ・エントランスへ「サーモビュー」の設置

令和4年度（2022年度）の取組み

令和4年度は、政府の「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」や「図書館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン（公益社団法人日本図書館協会）」の変更・更新を踏まえ、新たな知見等に基づいた必要な感染防止対策を実施しながら、過剰な対策とならないよう随時見直しを行った。

5月25日 「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針（5月23日変更）」において、「屋内において他者と身体的距離がとれて会話をほとんど行わない場合は、マスク着用は必要ない」とされたこと等を踏まえ、閲覧席・学習席で距離を保って着席する場合には、マスク着用を義務付けないこととした。

12月1日 「図書館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン（12月1日更新）」において、「座席等の間隔については、マスクの着用及び適切な換気が行われている場合には特に制約を設けない」とされたこと等を踏まえ、ビジネスエリアの椅子を一部復元した。

3月1日 「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針（令和5年2月10日変更）」において、「マスクの着用は個人の判断に委ねることを基本とする」とされたこと等を踏まえ、館内におけるマスク着用を任意とした。あわせて、館内の椅子を概ねコロナ禍前の状態に復元した。

Ⅱ 令和4年度の取組み

「山形県立図書館運営基本プラン2025」において基本理念とする『県民一人ひとりの生涯学習の基盤となり、知の集積と循環によって、新たな知恵や活力を生み出し、県民の成長と地域の賑わいに貢献する図書館』を目指し、「ときめく」、「たよれる」、「つながり・ひろがる」の3つの行動指針に沿った取組みを実施した。

1 ときめく図書館

(1) 本との出会いを演出し、賑わいの拠点となる空間づくり

① 図書館機能を活用し、多様な主体と連携して実施する賑わいの創出

- 美しい山形・最上川フォーラム連携「図書館からSDGs!!ペットボトルのふたをアップサイクルしてキーホルダーを作ろう」(5/29)
 - 山形職業能力開発協会連携「ボール型ロボットプログラミング教室」(7/2)
 - サマーフェスタ
 - ・山形中央高校連携「山形しかカタン!プレイイベント」(7/23)
 - ・音里間流音里間会連携「ふるさとを三味線・胡弓の音色にのせて」(7/30)
 - ・大学コンソーシアムやまがた連携「だれかに話したくなる夏の星空物語」(8/6) など
 - オータムフェスタ
 - ・山形ママコミュニティ mama*jam 連携「企画力アップワークショップ」(10/1)
 - ・県警本部・県防犯設備協会連携「みんなでつくろう安心なまち 防犯・交通安全について学ぼう」(10/8) など
 - クリスマス&ウィンターフェスタ
 - ・どんどんクインテット クリスマス・コンサート (12/24)
 - ・山形北高校音楽科 クリスマス・コンサート (12/24)
 - ・山形ベルの会 クリスマス・コンサート (12/25)
 - ・山形東高校マンドリン部 クリスマス・コンサート (12/25) など
 - 献血ルーム SAKRANBO 連携「図書館で学ぼう!いのちを救う『けんけつ』」(1/21)
 - 県みどり自然課連携「親子でつくろう!ブナのしずくストラップ」(1/29)
 - スプリングフェスタ
 - ・やまがた農業女子ネットワークあぐつと連携「図書館マルシェ」(3/4)
 - ・「山形西高校箏曲部 春の演奏会」(3/4)
 - ・東北文教大学連携「おはなし会スタンプラリー」(3/12)
 - ・「上山明新館高校邦楽部 図書館コンサート」(3/25)
 - ・日本経済新聞社連携「日本経済新聞の読み方講座」(3/25) など
 - 前記各イベントの実施に合わせた関係図書企画展示
 - 山形美術館「ますむらひろし展」「絵本作家・わかやまけんの世界」との連携展示
 - 「やまがた文化の回廊フェスティバル2023」への参加(3/17~26 6イベント)
- ##### ② 知的探究心を刺激し、来館のきっかけとなる企画の実施
- NPO法人ガリレオ工房、山形大学理学部との連携による理科読講座

- ・「Let's 理科読 空気のふしぎ」(4/30)
 - ・「Let's 理科読 ピカッと光るひみつ」(10/29 オータムフェスタ)
 - ・「Let's 理科読 光と色のいろいろ」(3/21 スプリングフェスタ)
 - 山形工業高校連携「ドローンプログラミング教室」(7/9 サマーフェスタ、3/21 スプリングフェスタ)
 - 県みどり自然課連携「山岳ガイドがこっそり教える山の楽しみ方講座」(7/30 サマーフェスタ)
 - 怪談作家黒木あるじ氏講演会「やまがた山の怪談」(8/7 サマーフェスタ)
 - 講演会「小説家長岡弘樹氏に聞くミステリーの魅力」(10/23 オータムフェスタ)
 - 講演会「戦争の世紀に世界を俯瞰した縣人たち」(12/17 クリスマス&ウィンターフェスタ)
 - 本の森講座「山形酒の楽しみ方」(2/5)
 - 前記各イベントの実施に合わせた関係図書の企画展示
 - 「山形ビエンナーレ 2022」連携「現代山形考：藻が湖伝説」関連展示
 - ワクワク！ドキドキ！ラッピングブック（クリスマス&ウィンターフェスタ）
 - 児童生徒の郷土学習向け図書の企画展示「探る！究める！郷土やまがた」
 - ③ リニューアルした図書館の魅力を伝える企画展示やイベント等の継続的な開催
 - エントランスホールにおけるコンサート・読み聞かせ（5/7、7/30、12/24、12/25、3/4、3/25）や企画展示
 - 県庁ロビーでの紹介動画放映及びジョンダナホールでの紹介展示（2/1～2/14）
 - ④ 遊学館内の施設や近接する施設との連携による生涯学習の拠点機能の充実
 - 生涯学習センター「山形小説家・ライター講座」講師の著作等展示（月替わり）
 - 生涯学習センター「山形学」遊学館ブックス紹介展示（通年）
 - 文翔館・遊学館・洗心庵・教育資料館・gura 合同企画「歴史文化ゾーンを巡る 2022」の開催に合わせた企画展示「明治期の山形市を色鮮やかに『山形県新築之圖』」
 - 県男女共同参画センターとの連携による企画展示「男女共同参画週間～『あなたらしい』を築く、『あたらしい』社会へ」、「チェリアフェスティバル山形 2022 連携展示」
 - 教育資料館との連携による企画展示「先生たちのさまざまなものがたり」
 - 「IL BLU 遊学館」との連携による、企画展示に合わせた特別メニューの提供
 - ⑤ 縣人文庫の展示の充実
 - 常設展示について、展示物の入れ替えを実施
 - ⑥ 県立図書館職員の専門性と接遇力の向上
 - 図書館職員専門研修
 - ・企画・広報編（6/20） 講師 Sun Planning 渡邊 香 氏
 - ・障がい者サービス編（10/17） 講師 専修大学 文学部 教授 野口 武悟 氏
 - ・著作権編（12/19） 講師 国立国会図書館 利用者サービス部 米井 大貴 氏
- (2) 乳幼児から高齢者まで生涯にわたり利用できる図書館づくり
- ① 乳幼児期からの利用促進と読育の推進

- 山形紙芝居研究会による「紙芝居のひろば」(11回)、東北文教大学学生による「おはなし会」(10回)
- 山形西高校合唱団「絵本とうたの会」(5/7)
- 本の森講座「こころを豊かに～絵本の世界～」(6/11)
- 国際交流員によるおはなし会「外国語の絵本を開いてみよう」(4回)
- 読書推進連携講座「親子でさがそう！ひたろう！秋・冬シーズン絵本ハンター」(11/27)
- こどもの読書週間企画展「夢いっぱい のりもの大集合」
- 児童向け企画展「『よんだことあるかも!?!』～国内外の絵本賞受賞作展示～」

② 児童・生徒の利用促進

- ティーンズコーナーにおけるお薦め本の紹介展示
- 山形商業高校図書委員によるおすすめ本・POPの展示(ティーンズコーナー)
- 夏休み期間中の展示(自由研究・工作、読書感想文)
- 「GATE☆BOOK」の発行(3月)

③ ビジネス及びリカレント等の支援

- ミニ展示を4半期ごとに実施
- 職業能力開発専門校連携展示「2年で、なりたい自分になる。～Dreams come true～」
- 山形県発明協会連携展示「アイデアを絵や形にしてみよう！」
- 県産業創造振興課連携展示「『起業』って何?～自分の夢を実現するための選択肢」

④ 県民の読書活動の推進

- 高齢者や健康などに関する本を集めた企画展示「心ゆたかに生涯読書」
- 「やまがた絵本マラソン」を大人絵本セラピー山形と共催(10/15)
- 「2021～2022 県内出版物展」
- 児童向け企画展「『よんだことあるかも!?!』～国内外の絵本賞受賞作展示～」

⑤ ユニバーサルデザインの視点に立ち、快適かつ安全安心に利用できるサービスの推進

- 遊学館避難訓練(火災想定7/22、地震想定3/9)、防犯講習(2/17)への参加
- 応急手当講習(1/19)の開催

2 たよれる図書館

(1) 県民の暮らしや課題解決、調査研究を支援する蔵書づくり

- ① 「山形県に関する資料は県立図書館にある」ことを目指した郷土に関する資料の収集・保存とその効果的な活用
 - 資料収集方針に基づき、郷土資料を偏りなく収集、県人著作等を積極的に収集
 - 「やまがたの魅力理解促進事業」により、児童生徒の郷土の学びに役立つ資料を重点的に収集
- ② 全世代の県民の学びと希望の実現を支援する資料の充実
 - 資料収集方針に基づき、生涯学習や調査研究に役立つ資料、県の施策展開や社会的ニーズに資する資料など、選定分野に偏りがないよう留意しながら収集
- ③ 身近な課題の解決を支援する資料とレファレンス(調査相談)の充実

- 市町村との役割分担を踏まえた、専門性の高い調査相談の充実
- 市町村への調査相談事例提供
- 国立国会図書館「レファレンス共同データベース」を通じた専門性の高い調査相談事例の紹介（当館登録件数：486件）
- 2022年の県内出版物を紹介する山形新聞の特集記事執筆協力
- ④ 安全安心に役立つ資料の収集保存と活用**
 - 災害記録や公共施設整備に関する資料等、防災意識の高揚につながる資料の整備
 - 県土整備部の関係各課と連携した啓発展示や「親子砂防教室」（6/25）の実施
- ⑤ 県内地方公共団体の政策決定や行政事務に必要な資料・情報の収集と提供**
 - 県の施策展開に資する解説資料・統計資料等の収集、法令通知集の追録の整備
 - 県の各部局が実施する県政情報発信コーナーでの展示に合わせた図書の展示、県の各部局と連携した館内での企画展示やイベントの実施
- (2) 県内図書館全体のサービス充実に向けた県立図書館の役割の発揮**
 - ① 県立図書館の特性や役割を踏まえた県内図書館への支援の充実**
 - 市町村立図書館（室）への相互貸借による貸出 3,059点
 - 県内公共図書館（室）実務者会議（7/5）による情報共有
 - 現状や課題の把握、情報共有等を目的とした巡回訪問（市町村19件、学校3件）
 - 学校図書館への一括特別貸出（15件）、セット貸出（5件）
 - ② 県内図書館を支える職員等の研修の充実**
 - 「第42回山形県図書館研究大会」の開催（10/19）
 - 図書館職員専門研修（企画・広報編6/20、障がい者サービス編10/17、著作権編12/19）の開催、及び高等学校図書館、大学図書館への参加の呼びかけ
 - ③ 県内図書館との連携による重層的な図書館サービスの充実**
 - 山形県図書館大賞2022「不思議な話の本」
 - 県内4市町の図書館と連携し、地域の魅力を知るイベント及び企画展示を実施（やまがたの魅力理解促進事業）
 - ・『つや姫』『雪若丸』開発者に聞く！美味しいお米ってどうやってできたの？（10/8山形市）
 - ・絵本作家長野ヒデ子氏講演会「絵本と紙芝居はごはんです」（10/16山形市）
 - ・「後輩たちへ伝えたい井上ひさし先生の思い」（11/1川西町）
 - ・「斎藤秀一を知っていますか」（12/3鶴岡市）
 - ・「ゆきと雪ぐに文化のみりよく発見だいさくせん」（12/24）
 - ④ ウェブ会議システム等の活用による新たな連携の推進**
 - 図書館職員専門研修（障がい者サービス編）の一部を動画配信
 - ⑤ 県外図書館等とのネットワークの推進**
 - 北日本図書館大会（6/8オンライン）、北日本図書館連盟研究協議会（10/20～21）、全国図書館大会群馬大会（10/6～7オンライン）への参加

3 つながり・ひろがる図書館

(1) インターネットを活用した利便性の向上とデジタル化の推進

① アクティブラーニンググループを活用した情報受発信の強化

○インターネット通信環境を活用した講座「Google アースで世界旅の疑似体験！」(1/14)

② インターネットによる情報発信の更なる強化

○図書館ホームページ、Facebook、Twitter へのイベント・展示情報等の積極的な掲載

○イベント等の記録動画を YouTube で配信

③ 非来館型サービスの周知広報と利便性向上

○インターネット予約 20,164 点

○図書館情報システム新機能を活用した「移動図書館」の実施(3/16 新庄市)

④ 貴重資料のデジタル化による長期保存対策と利活用の推進

○デジタルライブラリーの高画質化、説明文充実等(やまがたの魅力理解促進事業)

⑤ オンラインデータベースの活用の推進

○「ルーラル電子図書館で学ぶはじめての野菜づくり」(4/16)

⑥ レファレンスデータベースの充実

○国立国会図書館「レファレンス共同データベース」への事例登録と活用

⑦ 電子書籍サービスの検討

○先行事例について各種大会・展示会における事例発表等を通して情報収集

○各都道府県における直近の実施・検討状況を調査

(2) 連携・協働によるサービスの充実

① 県民や団体等との連携・協働によるサービスの充実

○登録ボランティアが蔵書点検時の書架整理に参加

② 協働による賑わいづくりを推進するネットワークづくり

○「賑わいづくり企画・実行委員会」の開催(5/28、9/2、1/22)

③ 次代に引き継ぐ資料の積極的な寄贈受入れ

○県内企業データや地域資料(郷土かるたなど)の収集活動を実施

④ ふるさと納税制度や雑誌スポンサー制度を活用した図書館機能の充実

○Facebook 及び Twitter でふるさと納税の広報を実施

○雑誌スポンサー制度の実施(2社増加)

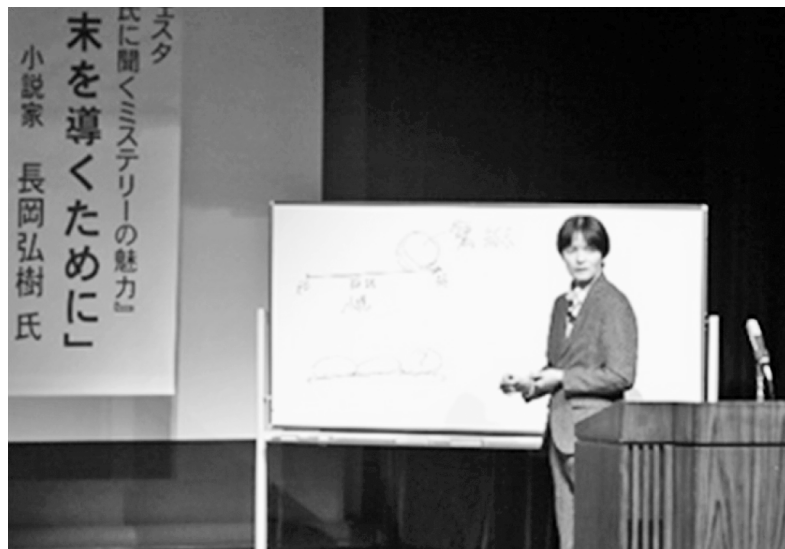
⑤ 県民のニーズや意見をくみ取る広聴と施設運営

○利用者アンケートの実施(6/7~12 回答 470 人)

怪談作家黒木あるじ氏講演会「やまがた山の怪談」



「小説家長岡弘樹氏に聞くミステリーの魅力」



山形ママコミュニティ mama*jam 連携「企画力アップワークショップ」



山形西高校合唱部「絵本とうたの会」



高校生によるエントランスホールでのコンサート
(山形東高校マンドリン部／上山明新館高校邦楽部)



東北文教大学連携「おはなし会スタンプラリー」



山形紙芝居研究会連携「紙芝居のひろば」



県警本部・県防犯設備協会連携「みんなでつくろう安心なまち 防犯・交通安全について学ぼう」



献血ルーム SAKRANBO 連携「図書館で学ぼう！いのちを救う『けんけつ』」



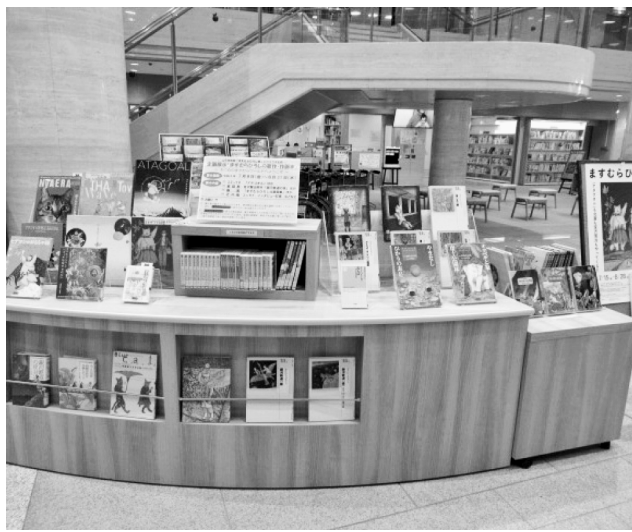
こどもの読書週間企画展「夢いっぱい のりもの大集合」



「山形ビエンナーレ 2022」連携「現代山形考：藻が湖伝説」関連展示



山形美術館「ますむらひろし展」「絵本作家・わかやまけんの世界」と連携した企画展示



15 利用の案内

開館時間

午前9時から午後8時まで

休館日

第1、3、5月曜日

第3日曜日

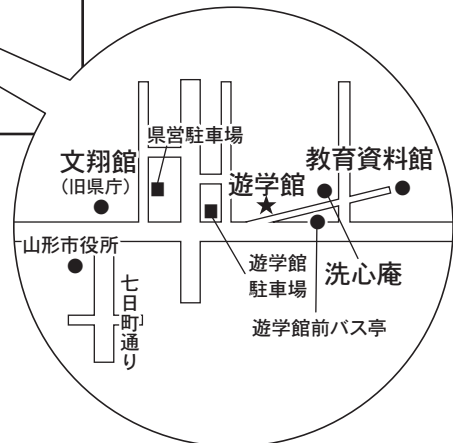
年末年始（12月29日～1月3日）

特別整理期間

貸出

- 借りる時は、利用カードが必要です。
- 図書の貸出は、10冊まで3週間以内です。
- 視聴覚資料（DVD・ビデオ・CDなど）の貸出は、3点まで1週間以内です。
- 図書・視聴覚資料の合計で10点以内となります。
- 「参考書」、「禁帯出」のラベル表示のある資料及び貴重資料は、館内のみ御覧ください。
- インターネット予約パスワードをお持ちの方は県立図書館HPから予約することが出来ます。
また、予約された資料は、県内のお近くの図書館（一部の図書館を除く）で受け取ることができます。

アクセス



〈電車でお越しの場合〉

- JR 山形駅から沼の辺・東北中央病院行き路線バスで遊学館前下車、徒歩3分
JR 山形駅から山形市役所経由路線バスで山形市役所前下車、徒歩約5分
- JR 山形駅からタクシーで約10分

〈お車でお越しの場合〉

- 山形自動車道山形蔵王 IC から約10分
- 東北中央自動車道山形中央 IC から約15分

〈駐車場について〉

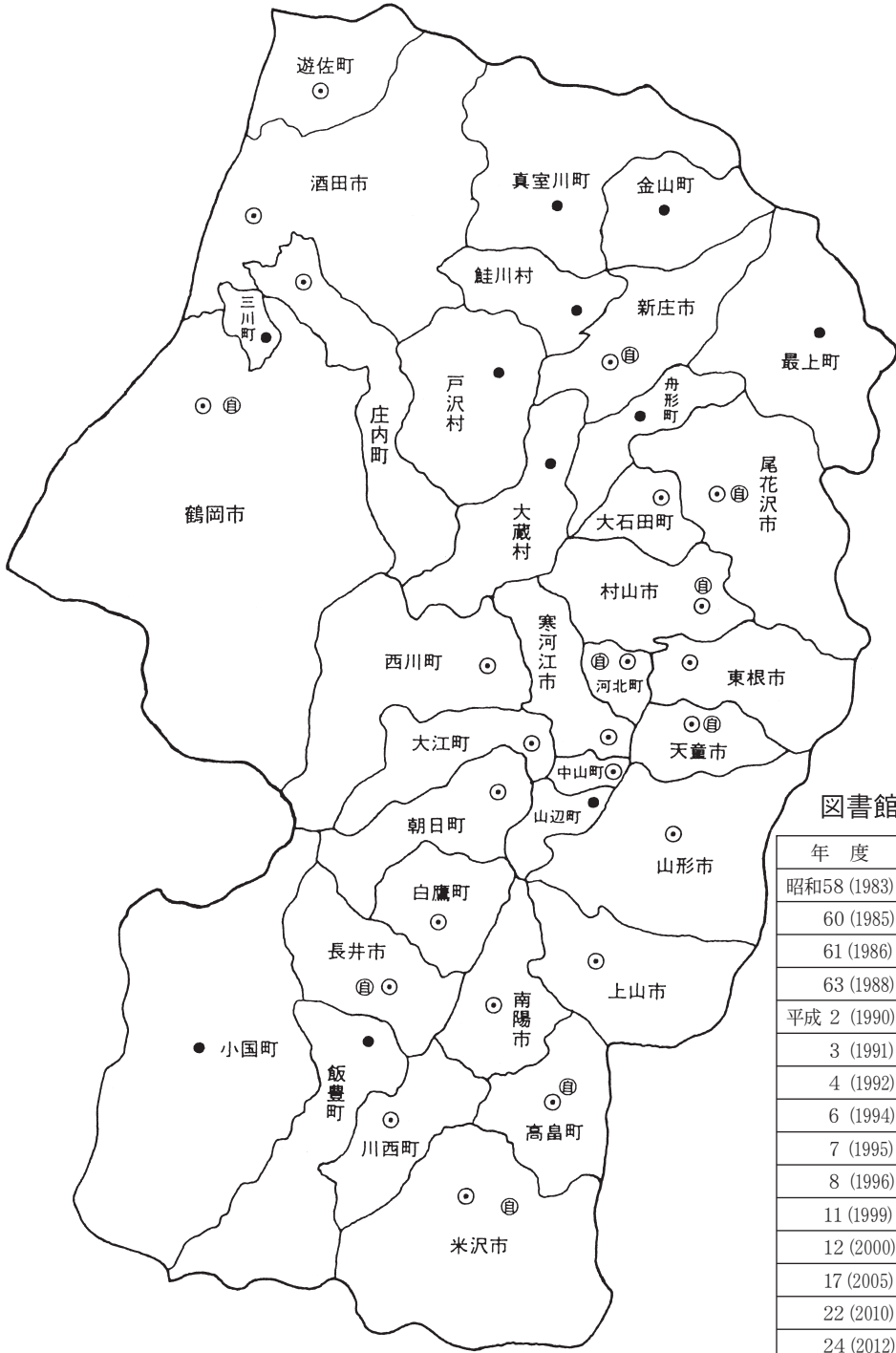
県営駐車場と遊学館駐車場をご利用の方は、入退館時に、それぞれ1階総合案内へ駐車券を提示してください。利用時間に応じて最大2時間まで無料となります。

※車いすをご利用の方には、遊学館入口付近に車いす利用者専用駐車場（1台）をご用意しています。ご利用の際は受付にお声がけください。

16 市町村立図書館の設置状況

(令和5年4月1日現在)

- 図書館設置市町
- 公民館図書室等
- ◎ 自動車文庫運営市町



図書館設置市町村

	市町村数	図書館設置市町村
市	13	13
町	19	11
村	3	—
計	35	24

図書館図書室設置市町村の推移

年度	図書館	増加館	図書室	新築館
昭和58(1983)	20	高 島	24	天童市立
60(1985)	20		24	鶴岡市立
61(1986)	21	櫛 引	23	櫛引町立
63(1988)	21		23	新庄市立
平成2(1990)	22	遊 佐	22	山形県立
3(1991)	22		22	寒河江市立
4(1992)	22		22	遊佐町立
6(1994)	22		22	川西町立
7(1995)	22		22	河北町立 上山市立
8(1996)	22		22	尾花沢市民
11(1999)	23	東 根	21	東根さくらんぼ
12(2000)	23		21	朝日町立 南陽市立
17(2005)	21		14	
22(2010)	21		14	村山市立
24(2012)	22	中 山	13	中山町立
28(2016)	23	大 江	12	大江町立 市立米沢 東根市
29(2017)	24	大石田	11	大石田町立
令和元(2019)	24		11	白鷹町立
4(2022)	24		11	酒田市立中央

※平成17年度は市町村合併による減少である

17 縣人文庫展示者のプロフィール

政治経済の分野で活躍

ひらた とうすけ
平田 東助 米沢市 1849年～1925年 政治家、産業組合運動の指導者、内大臣、伯爵
ドイツで学んだ信用組合論を基に、農民の経済自立、自主経営の組織化をめざして、産業組合制度を精力的に推進した。

いけだ せいひん
池田 成彬 米沢市 1867年～1950年 銀行家、三井財閥の指導者
積極的な反面、合理的で冷静な判断で三井銀行の発展に活躍。日本銀行総裁、蔵相兼商工相、枢密顧問官を歴任。

ゆうき とよたろう
結城 豊太郎 南陽市 1877年～1951年 銀行家、政治家
安田財閥の指導者、日本興行銀行総裁として昭和初期の不況対策に、また、日本銀行総裁としては戦時金融に指導力を発揮、活躍した。

海外で活躍

あだち みねいちろう
安達 峰一郎 山辺町 1869年～1934年 外交官、国際法学者、常設国際司法裁判所長
第一次大戦後の複雑な国際情勢の中で、少数民族の権利擁護のために尽くした努力は、各国から高く評価されている。

芸術の分野で活躍

しんかい たけたろう
新海 竹太郎 山形市 1868年～1927年 彫刻家
従来の洋風彫刻がイタリア系であったのに対して、北欧的な格調を持つ作品が注目された。「ゆあみ」はその代表作。

こまつ ひとし
小松 均 大石田町 1902年～1989年 日本画家、文化功労者
最上川の全ルートを描くのを念願とした壮大な連作「最上川シリーズ」で芸術選奨文部大臣賞受賞、「雪の最上川」は院展内閣総理大臣賞受賞。

文学の分野で活躍

たかやま ちよぎゆう
高山 樗牛 鶴岡市 1871年～1902年 文学者、評論家
「滝口入道」は若い読者から熱狂的な支持を得、「帝国文学」「太陽」の文芸欄での発言は、青年層に大きな影響を与えた。

さいとう もきち
斎藤 茂吉 上山市 1882年～1953年 歌人、医師、文化勲章受賞、文化功労者
第一歌集「赤光」で一躍有名となり、「短歌写生の説」を实践、「実相観入」を提唱。「アララギ」主宰。歌集のほか、評論など多くの分野で活躍した。

はまだ ひろすけ
浜田 広介 高島町 1893年～1973年 童話作家
近代日本における幼年童話の創始者。作品は一般に「ひろすけ童話」と愛称され、年少児のための童話に新境地を開いたものと評価されている。

学術の分野で活躍

いとう ちゅうた
伊東 忠太 米沢市 1867年～1954年 建築史家、建築家、文化功労者、文化勲章受章

日本で初めて建築を一つの科学となし、日本の建築芸術の発展経路を明らかにした。設計した作品は、平安神宮、築地本願寺等。

くさかべ しろうた
日下部 四郎太 山形市 1875年～1924年 物理学者

「岩石の力学的研究」で、わが国の物理学では2回目、東北大学では第1号の帝国学士院賞受賞。

おりしも よしのぶ
折下 吉延 新庄市 1881年～1966年 造園家

樞原神宮林苑、明治神宮林苑の造成、関東大震災後の東京・横浜の都市計画に、戦後は国立公園や自然公園の保護等に尽力した。

あべ じろう
阿部 次郎 酒田市 1883年～1959年 哲学者、美学者、評論家

「三太郎の日記」によって多くの読者をひきつけ、人格主義を鼓吹して大正時代の思想に大きな影響を与えた。

おぐら きんのすけ
小倉 金之助 酒田市 1885年～1962年 数学者、数学教育学者

数学史、数学教育、科学論等に優れた論著が多い。とくに「数学教育の根本問題」は、数学界に大きな刺戟を与えた。

たかはし さとみ
高橋 里美 米沢市 1886年～1964年 哲学者、文化功労者

「包越の論理」にもとづく独自の観念論的哲学体系を組み立てた。純粹理論としての哲学で「最も哲学的な哲学」といわれる。

ほんま ひさお
本間 久雄 米沢市 1886年～1981年 文芸評論家、英文学者、日本近代文学研究家

外国文学のみならず美術や演劇にわたる広範な知識を背景に、日本近代文学研究に新たに開拓した業績が多い。

ひらつか ひできち
平塚 英吉 新庄市 1888年～1984年 農芸化学者、文化功労者

絹糸生成や蚕栄養に関する基礎的な研究等、蚕糸学に関する研究に大きな功績を残した。

にいげき りょうぞう
新関 良三 河北町 1889年～1979年 演劇学者、ドイツ文学者、文化功労者

「ギリシャ・ローマ演劇史」は、もっとも優れた西欧古代劇の研究であると同時に、日本人による外国文学研究の最高峰とされている。

おおくま のぶゆき
大熊 信行 米沢市 1893年～1977年 経済学者、評論家、歌人

「生命再生産の理論」「資源配分の理論」等、人間中心の経済学を構想した経済学上の業績の他に、歌人としての業績も多い。

さがら もりお
相良 守峯 鶴岡市 1895年～1989年 ドイツ文学者、ゲーテ研究の権威、文化功労者、文化勲章受章

独和、和独事典の編集で著名。「ドイツ中世叙事詩研究」等、日本における中世ドイツ文学研究の基礎をつくった。

わがつま さかえ
我妻 栄 米沢市 1897年～1973年 法律学者、文化功労者、文化勲章受章

法解釈に新分野をひらき、独自の民法体系をつくりあげた「我妻民法」で知られる日本民法学界の最高峰。

ほりごめ ようぞう
堀米 庸三 河北町 1913年～1975年 西洋史学者

戦後のヨーロッパ中世史研究を主導した一人。その門下からわが国の西洋史学研究に多くの後継者が輩出した。

18 ふるさと納税

使途明示型ふるさと納税 特定プロジェクト⑬

山形県立図書館サービス向上事業

2,000円以上ご寄付いただいた方にご芳名を掲載した図書館だよりをお送りします

あなたの寄付を県立図書館の資料充実に活用します！

●「県民が集い・学ぶ 本のまち」を目指して

山形県立図書館では、近年の図書館を巡る環境の変化や県立図書館に対する県民の期待を踏まえ、「県民のあらゆる活動を支え、地域の課題解決に貢献する知の拠点（平成27年3月「県立図書館の将来のあり方について）」を目指し、より良い図書館づくりに取り組んでいるところです。

平成28年3月には、山形県立図書館のさらなる活性化を図るため「山形県立図書館活性化基本計画」を策定しました。本計画を踏まえ、「県民が集い・学ぶ 本のまち」を基本コンセプトにした大規模工事をを行い、令和2年2月にリニューアルオープンいたしました。



▲エントランス



▲新聞・雑誌コーナー

●寄付の使い道について

より魅力的な図書館にするためには、施設面の充実だけでなく、図書資料の充実も必要です。本事業にいただいた寄付金は、県立図書館の図書資料購入に活用させていただき、豊富な図書資料を揃えた魅力的な図書館づくりに取り組んでまいります。

【活用例】

- ・子どもエリアに配置する図書の購入。
- ・その他利用者ニーズ等を踏まえた図書の充実に活用します。



●お礼状及び図書館だより「本の森通信」をお送りします。

本事業にご賛同いただき、ご寄付いただきました方には、お礼状とご芳名を記載した図書館だより「本の森通信」をお送りいたします。

● お問い合わせは 山形県 生涯教育・学習振興課 図書館活性化担当 023-630-3126

これまでの実績

年度	件数	金額
平成30年度（初年度）	3件	6,000円
令和元年度	15件	112,000円
令和2年度	4件	12,000円
令和3年度	4件	56,000円
令和4年度	4件	46,000円

19 山形県立図書館 雑誌スポンサー



図書館であなたの会社をPR♪ 雑誌スポンサー大募集！

1. 毎日700名、週末1,000名の方が来館しています！
2. 年間20万名の方に、御社の情報を提供できます！
3. 御負担は毎月数百円から可能です！
たとえば...800円の月刊雑誌を提供など

雑誌スポンサー制度とは…

県立図書館の雑誌の提供スポンサーになっていただき、雑誌のカバーを広告媒体としてご利用いただくことで、図書館利用者へ貴社のPRができる制度です。

スポンサーとして選んだ本の購入代金を、所定の書店にお支払いいただきます。

企業や商店はもちろん、団体、個人事業主の方であれば、どなたでもOK！ ただし、図書館の雑誌スポンサーにふさわしくない企業等はお断りする場合がありますので、ご了承ください。

お問い合わせはこちらまで↓

山形県立図書館企画課 〒990-0041 山形県山形市緑町1-2-36

TEL:023-631-2523 FAX:023-625-6520

HP: <https://www.lib.pref.yamagata.jp/>

●山形県立図書館 雑誌スポンサー一覧 (令和5年度4月)

No	スポンサー名	スポンサー開始月	雑誌名
1	株式会社大風印刷	平成26年5月	週刊文春
2	株式会社山形銀行	平成26年6月	プレジデント
3	株式会社荘内銀行	平成26年8月	モンテディオ山形ファンマガジンRush
4	東北労働金庫	平成28年5月	住まいの設計 日経マネー
5	七日町商店街振興組合	平成29年4月	月刊山形ZERO☆23
6	蔵王ロープウェイ株式会社	平成29年6月	関東・東北じゃらん
7	株式会社本間利雄設計事務所	令和4年8月	芸術新潮
8	山形モータース株式会社	令和4年8月	モーターマガジン



20 山形県立図書館利用規程

(令和4年3月7日生学第534号県教育長承認)

(趣旨)

第1条 この規程は、教育機関の組織及び運営に関する規則（昭和41年4月県教育委員会規則第2号）第13号の規定に基づき、山形県立図書館（以下「本館」という。）の利用に関し必要な事項を定めるものとする。

(利用カード)

第2条 本館の資料を利用する場合には、開架資料を館内で利用する場合を除き、利用カードによって行わなければならない。

- 2 前項に定める利用カードの交付を受けることのできる者は、県内に住所を有する者又は県内に通勤若しくは通学する者とする。
- 3 利用カードの交付を受けようとする者は、住所等を証明する書類を提示のうえ、利用カード申込書（別記様式第1号）を館長に提出し、利用者の登録をしなければならない。
- 4 館長は、利用者が最後に利用してから5年間利用しない場合は、利用者の登録を取消することができる。
- 5 利用カードの交付を受けた者は、申込書の記載事項に変更が生じたときは、利用カード申込書により速やかにその旨を館長に届け出なければならない。
- 6 利用カードを亡失した者は、その旨を速やかに館長に申し出なければならない。
- 7 利用カードを亡失し、又は毀損した者は、利用カード申込書を提出することにより、利用カードの再交付を受けることができる。
- 8 利用カードは、他人に貸与してはならない。
- 9 第2条第5項、第6項及び第8項に違反する行為によって生じた本館の損害については、利用カードの交付を受けた者が負担しなければならない。

(館外利用の方法)

第3条 本館以外の場所（以下「館外」という。）で資料を利用しようとする者は、係員に利用カードと資料を提示し、館外貸出の手続きをとらなければならない。

- 2 利用者は自動貸出機を使用して、自ら館外貸出手続きをすることができる。
- 3 利用者が利用カードを持参しなかった場合は、仮貸出票（別記様式第2号）を係員に提出することにより、資料の館外貸出を受けることができる。

(館外利用点数)

第4条 館外で利用できる資料の点数は、未返却資料を含め10点以内とする。

- 2 館外で利用できる視聴覚資料は3点以内とし、前項に定める利用点数に含むものとする。
- 3 館長は、必要と認めたときは、貸出点数を制限することができる。

(館外利用期間)

第5条 館外で資料を利用できる期間は、貸出を受けた翌日から3週間以内とする。

- 2 視聴覚資料の館外での利用期間は、貸出を受けた翌日から1週間以内とする。
- 3 館長は、必要と認めたときは、前2項の期間内であっても資料の返却を求めることができる。

(館外利用の制限)

第6条 次の各号に掲げる資料は、館内でのみ利用することができる。

- (1) 官報、山形県公報及び新聞
- (2) 逐次刊行物の最新号
- (3) 郷土資料（ただし、2冊以上の複本のあるものを除く。）
- (4) 参考図書として指定したもの
- (5) マイクロフィルム資料
- (6) その他館長の指定したもの

(館内利用の方法)

第7条 本館の資料は、館内の所定の場所において自由に利用することができる。

- 2 視聴覚資料を館内で視聴しようとする者は、係員に利用カードと資料を提示して借り受け、所定の場所で利用しなければならない。ただし、マイクロフィルムを利用する場合は、利用申込票（別記様式第3号）を係員に提出しなければならない。
- 3 視聴覚資料を館内で視聴できる点数は、一人一日2点以内とする。
- 4 CD-ROM 媒体又はインターネット上の各種データベースを館内で利用しようとする者は、利用申込票を係員に提出し、所定の場所で利用しなければならない。
- 5 閉架資料を利用しようとする者は、貸出請求票又は資料請求票（別記様式第4号）を利用カードとともに係員に提出しなければならない。

(返納)

第8条 利用者は、館外貸出を受けた資料を所定の貸出期間内に係員に返納しなければならない。

- 2 開館時間外にあっては、視聴覚資料及び大型本を除く資料はブックポストに返却することができる。
- 3 利用者は、館内での資料の利用が終ったときは、閉架資料は利用者自らが閉架書架の配架場所に返却し、閉架資料及び視聴覚資料はそれぞれ係員に返納しなければならない。

(督促及び貸出停止)

第9条 館長は、貸出期間を過ぎても資料を返却しない利用者に対し、督促を行うことができる。

- 2 館長は、前項の督促を引き続き3回以上受けた利用者に対し、資料が返却されるまでの間、新規の貸出を停止することができる。

(弁償)

第10条 利用者は、資料を亡失若しくは汚損したときは、速やかに資料紛失毀損届（別記様式第5号）を館長に提出するとともに、その損害を弁償しなければならない。

- 2 前項に規定する資料の損害は、現品又は相当の金額で弁償するものとする。ただし、現品での弁償が困難な場合は、同等品をもって弁償することができる。
- 3 館長は、督促をしても返却に応じない第9条第2項の利用者に対して、前2項により弁償を求めることができる。

(インターネット予約貸出)

第11条 中学生以上で、電子メールアドレスを保有している者は、インターネット予約貸出を受けることができる。

- 2 インターネット予約貸出を受ける者は、第2条に定める利用カードの交付とインターネット予約貸出用パスワードの発行を受けなければならない。

- 3 前項の規定により登録した者は、本館ホームページの「インターネット予約貸出申込画面」から申込みことができる。
- 4 前項の規定により申込みをした資料を受領する者は、本館並びに本館が指定する公共図書館及び公民館図書室等（以下「受取館」という。）で資料を受け取ることができる。
- 5 前項の規定により受け取った資料を返却する者は、その資料を受け取った受取館へ返却しなければならない。
- 6 貸出期間は、貸出日の翌日から30日以内とする。ただし、本館で受け取る場合は貸出日の翌日から3週間以内とする。
- 7 貸出できる資料は、図書及び逐次刊行物で第6条で規定された資料以外のものとする。
（郵送による館外貸出）

第12条 利用カードの交付を受けた者は、郵送等による資料の貸出を受けることができる。

- 2 前項の館外貸出のために要する費用は、利用者の負担とする。
（特別貸出）

第13条 館長は、公用、学術研究、その他特別の事情があると認めるときは、第2条第1項、第4条、第5条、及び第6条の規定にかかわらず資料を貸出することができる。

- 2 前項の貸出を受けようとする利用者は、特別貸出借用書（別記様式第6号）を館長に提出しなければならない。
（図書館間貸出）

第14条 次の各号に掲げる施設は、資料の貸出を受けることができる。

- (1) 公共図書館、公民館図書室、学校図書館及び大学図書館
 - (2) その他館長が適当と認める施設
- 2 前項の場合において、館長は必要に応じて貸出点数を制限することができる。
 - 3 貸出期間は、貸出日から1ヵ月以内とする。ただし、館長が特に必要と認めた場合は、その期間を変更することができる。
 - 4 前3項の規定にかかわらず、視聴覚資料の貸出対象施設は、県内の施設及び社会教育団体等に限り、貸出点数及び貸出期間を、1回につき5点以内でかつ、1週間以内とする。
 - 5 貸出を受けようとする施設は、資料借受申込書（別記様式第7号）を館長に提出しなければならない。
 - 6 資料の返納に係る経費（郵送料等）は、借受施設の負担とする。

（一括特別貸出）

第15条 次の各号に掲げる県内の施設は、読書活動を助長するため、資料の一括特別貸出を受けることができる。

- (1) 公共図書館及び公民館図書室
 - (2) その他館長が適当と認める施設
- 2 前項の貸出を受けようとする施設は、一括特別貸出申請書（別記様式第8号）を館長に提出しなければならない。
 - 3 1の施設に対する貸出点数は、500点以内とする。ただし、館長が特に認めた場合は、この限りではない。
 - 4 貸出期間は、貸出日から1年以内とする。

(利用資料の予約等)

第16条 本館に来館した利用者は、利用したい資料が、貸出中又は未所蔵等の理由で利用できない場合には、その資料について利用の予約又は図書館間貸出の申し込み、あるいは購入の希望をすることができる。

2 前項の利用の予約又は図書館間貸出の申し込み、あるいは購入の希望は、貸出予約申込書(別記様式第9号)を館長に提出して行うものとする。

3 前項で申し込んだ予約を利用者が取り下げたい場合は、予約取り下げ申出書(別記様式第10号)を館長に提出しなければならない。

4 中学生以上の利用者は、利用者検索用端末機を使用して貸出中の資料に対して自ら利用予約の手続きをすることができる。

5 前項の場合、パスワード発行申込書(別記様式第11号)を館長に提出し、自らパスワードを登録しなければならない。

(資料の複写)

第17条 資料の複写は、著作権法(昭和45年法律第48号)第31条第1号の規定に基づき利用者の調査研究の用に供するために、本館が所蔵する公表された著作物の一部分について、1人1件につき1部のみ行うことができる。

第18条 資料を複写しようとするものは、複写申込書(別記様式第12号)を館長に提出し、その許可を受けなければならない。

2 複写に要する経費は、申込者の負担とする。

3 複写物の利用による著作権法上の責任は、当該複写物の提供を受けた者が負わなければならない。

第19条 次の各号に掲げる資料の複写は、許可しない。

(1) 技術的に複写が困難な資料

(2) 複写することによって損傷するおそれのある資料

(3) 前2号に掲げるもののほか、館長が、複写することについて不相当と認めた資料

2 本館の業務に支障をきたすと館長が認めたときは、複写枚数を制限することができる。

(調査相談)

第20条 調査相談をしようとする者は、口頭、電話、文書又は電子メールにより申し込むことができる。

第21条 調査相談の依頼に対しては、主として文献に基づいて調査し、回答を行うものとする。

第22条 依頼事項が次の各号に該当する場合は、調査相談に応じないものとする。

(1) 古書、古文書及び美術品等の鑑定並びに市場価格の調査

(2) 宿題、卒業論文及び懸賞問題に関する調査

(3) 翻訳及び注釈並びに医療相談及び法律相談

(4) その他館長が不相当と認めるもの

2 前項以外の場合であっても、特に経費又は時間を要し他の業務に支障を及ぼすおそれがあると館長が認めたときは、調査に応じないものとする。

(研究室の利用)

第23条 本館の資料を利用してグループ研究等を行う者及び館長が必要と認めた者は、研究室を利用することができる。

2 研究室を利用しようとする者は、研究室利用申込書(別記様式第13号)を提出して館長の許可を受けなければならない。

(補則)

第24条 この規程の施行に関し、必要な事項は、館長が別に定める。

附則

- 1 この規程は、平成17年4月1日から施行する。
- 2 山形県立図書館利用規程（平成2年7月27日）は、廃止する。
- 3 この規程は、平成19年9月1日から施行する。
- 4 この規程は、平成21年4月1日から施行する。
- 5 この規程は、平成26年5月20日から施行する。
- 6 この規程は、令和元年7月3日から施行する。
- 7 この規程は、令和4年3月31日から施行する。



ホームページ
P C ・ スマートフォン用



ホームページ
携帯用



F B (P C スマホ用)

発 行 山 形 県 立 図 書 館

〒990-0041 山形市緑町一丁目2-36

電 話 (023) 631-2523(代)

(023) 633-0165(本の相談)

F A X (023) 625-6520